

気候変動対策の推進について



山口県 環境生活部 環境政策課



気候変動の状況と将来予測

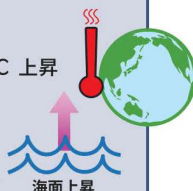
気候変動による影響は、すでに世界中で観測されており、このまま何の対策もしない場合、今後、さらに深刻な影響が予測されています。

世界・日本

世界の平均気温は、
過去100年で **0.99℃** 上昇し、
海面は **20cm** 上昇

今世紀末には...

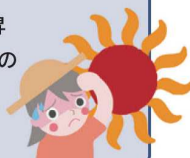
世界の年平均気温は最大 5.7℃ 上昇
海面は最大 63～101cm 上昇



日本の平均気温は、
100年あたり **1.28℃** 上昇

今世紀末には...

日本の年平均気温は4.5℃ 上昇
猛暑日(日最高気温35℃以上)の
年間日数は約20日増加



山口県

県の短時間強雨の
年間発生回数は、
35年で **2.9倍** に増加

今世紀末には...

大雨(日降水量200mm以上)の日数や、
短時間強雨(1時間降水量50mm以上)の
発生回数が増加



県の平均気温は、
100年あたり **1.74℃** 上昇

今世紀末には...

年平均気温は4.1℃ 上昇
猛暑日の年間日数は、約26日増加

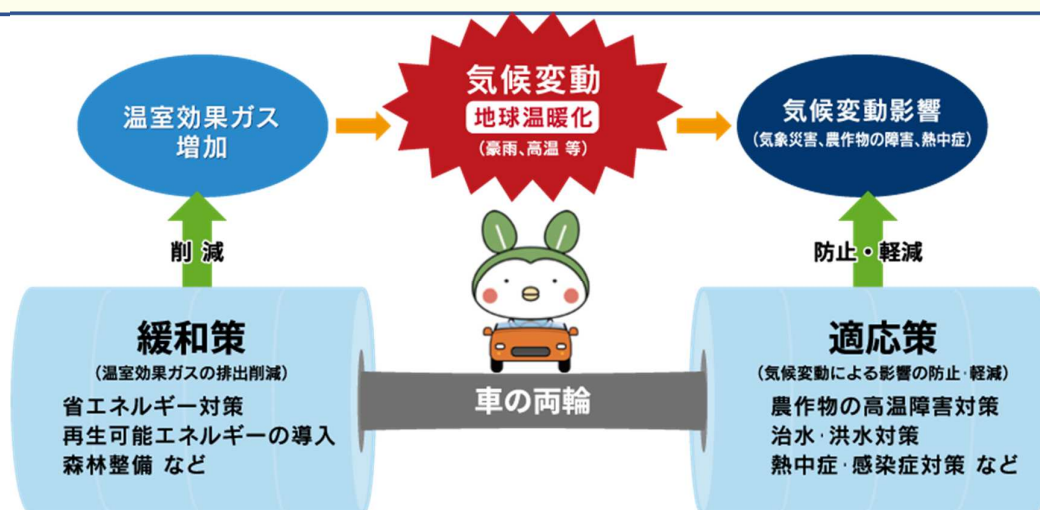




気候変動への対策

緩和策：気候変動の原因となる温室効果ガスの削減対策

適応策：すでに生じている、あるいは将来予測される
気候変動による避けられない影響の防止・軽減策



緩和策と適応策の関係

< 温室効果ガス > 二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン

< 再生可能エネルギー > 太陽光発電、風力発電、中小水力発電、バイオマス発電 など

3



環境政策課の今年度の取組

事業名	概要
2050ゼロカーボン・チャレンジ推進事業	拡 脱炭素に触れる体験型謎解きイベントの実施 ・ ぶちエコやまぐちアンバサダーと連携した情報発信 ・ 「ぶちエコアプリ」を活用し、エコ行動を実践するための機会やインセンティブを継続的に提供 拡 気候変動の影響に関する情報収集・分析及び発信の強化 ・ 適応策に関する情報収集・分析及び発信の強化 ・ 家庭向け温暖化防止診断とぶちエコサポーター登録制度等の実施 ・ 山口大学グリーン社会推進研究会と連携した環境学習の実施 新 次世代環境リーダー育成プロジェクトの実施 ・ 環境やまぐち推進会議の運営、地球温暖化対策優良事業所の表彰
省・創・蓄エネの導入促進事業	・ 山口県産省・創・蓄エネ関連設備等登録制度 拡 ZEH（ゼッチ）の啓発・導入支援 拡 太陽光発電設備等の共同購入支援 ・ 脱炭素セミナー ・ 専門家による省エネ診断 新 省エネ診断員の育成支援 ・ やまぐち再エネ電力利用事業所認定制度 ・ 中小企業者等向け省・創・蓄エネ設備設置補助金 ・ 地球にやさしい環境づくり融資
ゼロカーボン・ドライブ普及啓発拠点整備事業	・ 県有施設に太陽光発電設備、電気自動車等を導入し、ゼロカーボン・ドライブの普及啓発拠点として整備
県有施設への太陽光発電設備導入促進事業	・ 県有施設に自家消費型の太陽光発電設備を導入

4



緩和策：脱炭素に触れる体験型謎解きイベント

目的

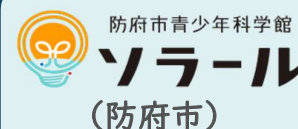
県民の脱炭素型ライフスタイルへの行動変容を促し、その定着を図る。

概要

脱炭素に興味・関心のない方をはじめ、多くの県民が気軽に参加でき、脱炭素について学べる体験型謎解きイベントを実施

昨年度、「徳山動物園」と「ときわ公園」の2か所で初めて開催

⇒今年度は、実施場所を **3か所** に拡大



5

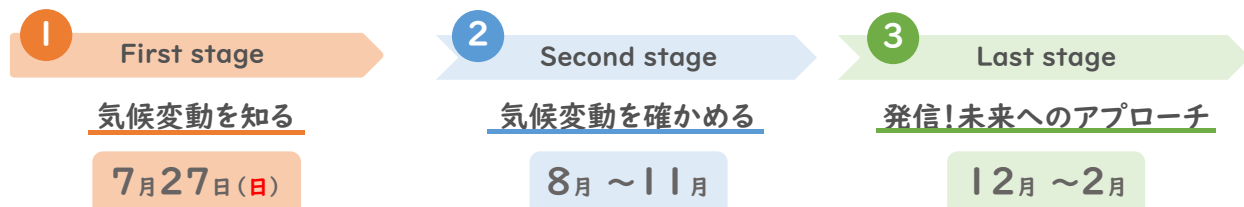


緩和策：次世代環境リーダー育成プロジェクト

目的

高校生の力を活かして気候変動問題に取り組み、脱炭素社会の実現に寄与できる次世代環境リーダーの育成を目指す。

概要



気候変動って何？
企業の方や専門家等から対策と課題を聞き、取り組みたいテーマを決める

課題解決のフィールドワークに出かけて、アイデアを具現化
2050年のロードマップをつくろう

実践した成果を発表し、企業の方や専門家等からアドバイスをもらったら、HP等で世界に発信！

- 対象：県内高校生（20名程度）
- 募集締切：令和7年7月16日（水）

山口県 次世代環境リーダー

検索



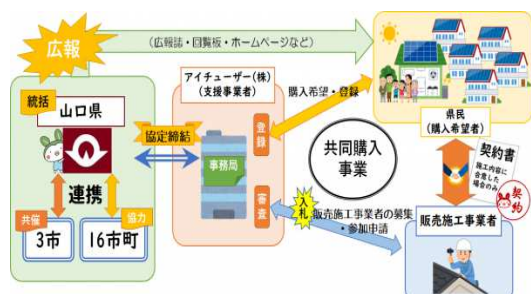
6



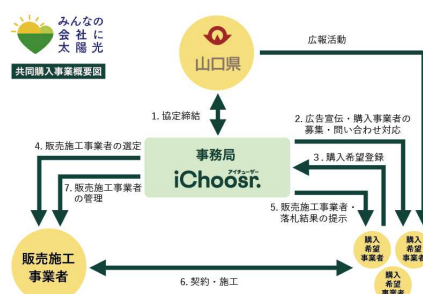
緩和策：ぶちエコやまぐち太陽光発電設備等共同購入事業

太陽光発電設備

一括調達によるスケールメリットを活かし、価格低減を促すことで、既存住宅や事業所等への太陽光発電設備の更なる導入を促進する。



【既存住宅向け】登録受付中（～8月28日）

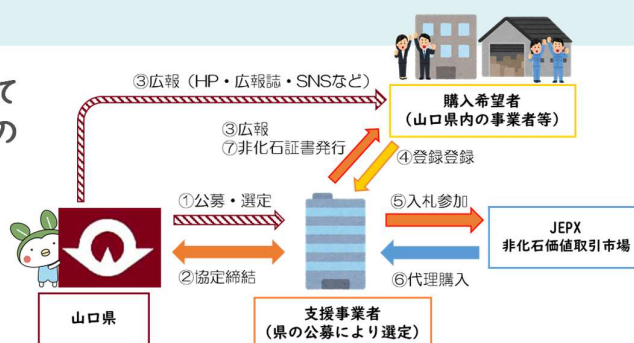


【事業所等向け】9月登録開始（予定）

非化石証書

非化石証書の購入希望者を募り、一括して調達することで再エネの調達に係る費用の低減や事業負担の軽減等を図る。

- 募集開始：令和7年9月以降（予定）



7



適応策：暑さ指数計を活用した熱中症予防普及啓発

目的

熱中症予防の指標である「暑さ指数（WBGT）」を測定する機器を県民等に無料で貸し出し、測定データを収集・分析するWebアプリを活用することで幅広く県民に対して熱中症対策への意識向上を促進する。

概要

- イベント時等に暑さ指数計を無料で貸し出し、測定してもらうことで、「暑さ」を見える化し、熱中症予防に役立てる。
- 測定した結果を県民参加型Webアプリ「これって気候変動？みんなで調査！～やまぐちの暑さ編～」を通じて収集・分析し、情報発信する。

【貸出対象】県民、県内の団体・事業者・行政機関・教育機関

【貸出場所】県健康福祉センター 等

【貸出期間】一週間以内

【貸出時期】令和7年7月上旬から10月



8



事業の紹介

詳しくは環境政策課ホームページで <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/38/>

環境政策課



目次

下記目次をクリックすると、該当の見出しへジャンプします。

① 気候変動対策

② 生活環境の保全

③ 人づくり・地域づくりの推進

④ 共通的・基盤的施策

⑤ 環境法令

⑥ その他

新着情報

主な業務内容

快適な地域環境の形成に係る基本的政策の企画、調整及び推進に関すること
環境の保全に関すること
環境影響評価の審査及び指導に関すること
もっと詳しい業務内容を見る

連絡先

環境企画班
〒753-8501
山口県山口市滝町1番1号
Tel : 083-933-3030
Fax : 083-933-3049
☒ メールでのお問い合わせはこちら

地球温暖化対策班
Tel : 083-933-2690
Fax : 083-933-3049

大気・化学物質環境班
Tel : 083-933-3034
Fax : 083-933-3049

水環境班

ご清聴ありがとうございました



山口県環境生活部 廃棄物・リサイクル対策課

山口県の廃棄物の現状

【1人1日当たりの家庭排出ごみ量】

○現状（令和5年度）：511 g/人・日（全国平均 475 g/人・日）

○目標（令和7年度）：462 g/人・日

県民、事業者、関係団体、行政等が連携・協働して、廃棄物の3Rに関する県民総参加の「ぶちエコやまぐち3R県民運動」により機運を醸成し、ごみの減量化や循環利用等を促進

循環型社会の形成

ぶちエコやまぐち3R県民運動の推進

主な取組として、

プラスチックごみ削減の取組

- ・ワンウェイプラスチックの削減
- ・やまぐちプラごみ削減取組店登録制度



食品ロス削減の取組

- ・小・中学校における環境学習
- ・食品ロス削減の取組の周知
- ・やまぐち食べきり協力店登録制度
- ・ぶちエコ食品ロス削減パートナー登録制度



プラスチックごみ削減の取組

ワンウェイプラスチックの削減



《令和6年度の取組》



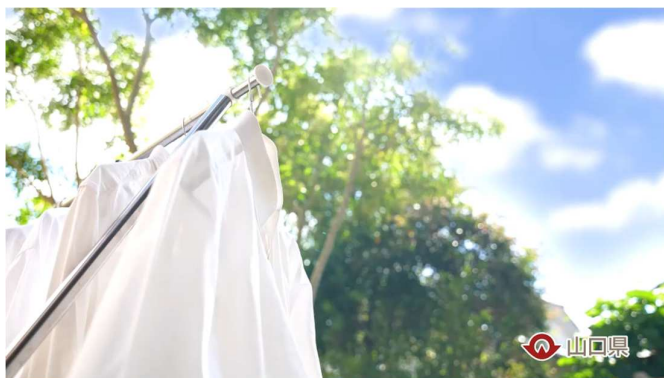
「プラスチック製」衣類用カバー



「クリーニングマイバッグ」



利用促進イベント



紹介動画



利用方法チラシ

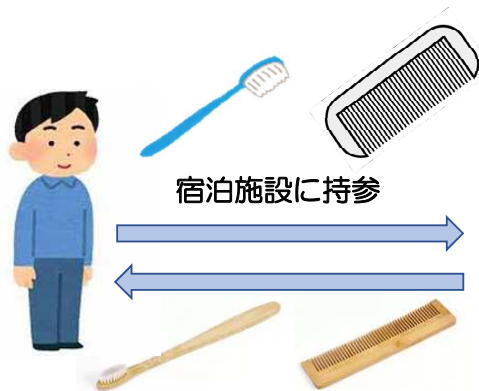
繰り返し使用可能なクリーニングマイバッグの取組を県内全域に拡大済

プラスチックごみ削減の取組

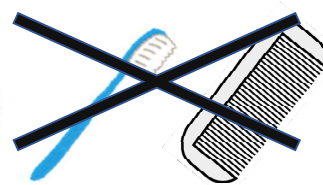
ワンウェイプラスチックの削減



《令和7年度実施予定》



宿泊施設に持参



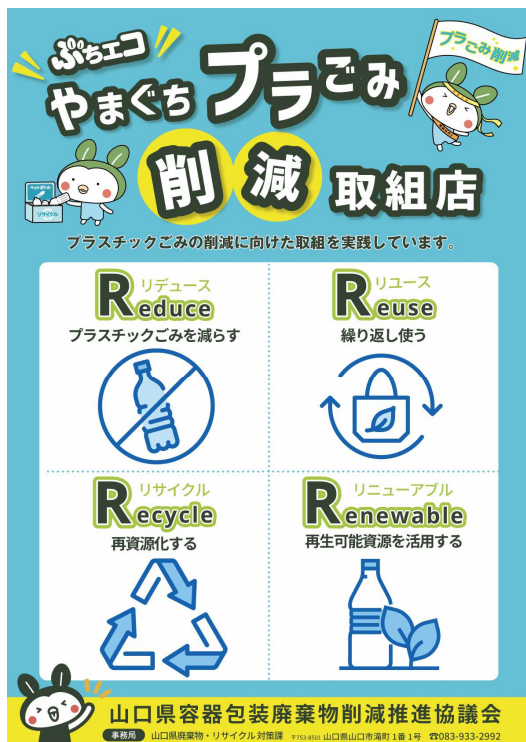
ワンウェイプラスチック削減！

使い捨てしないアメニティを配布

関係団体の連携の下、宿泊施設から排出される、アメニティ等のワンウェイプラスチックの削減を図る

プラスチックごみ削減の取組

やまぐちプラごみ削減取組店登録制度



◆概要

プラスチックごみ削減に取り組むスーパーやクリーニング店等を登録し、その取組を広くPRする（R4.7～）

◆目的

県のホームページ等で取組を消費者等に広く紹介することにより、プラごみ削減に向けた県民運動を展開

◆登録事業者数

145事業者（R7.6.1現在）



登録事業者(県HP)

食品ロス削減の取組

小・中学校における環境学習



レノファ山口FC選手や、山口県住みます芸人（吉本興業(株)所属）等など、山口県ゆかりの著名人をゲストに迎え、食品ロス削減に関する環境学習を実施

今年度も同様の環境学習を実施予定

《令和6年度の環境学習の様子》



レノファ山口FC選手と一緒に、食品ロス削減の取組み目標を宣言（私立野田学園中学校）



環境学習の後「どさけん」と一緒に、給食の食べきりに取り組む生徒たち（萩市立白水小学校）

食品ロス削減の取組

食品ロス削減の取組の周知



「食品ロス削減」に関する取組の啓発チラシを配布したほか、取組に関するラジオCM、小中学生向けの啓発メッセージを放送



食品ロス削減の取組

やまぐち食べきり協力店登録制度



やまぐち食べきり協力店 募集集中!!

対象店舗 山口県内で営業している 旅館・ホテルの宿泊施設、飲食店

登録要件 食品ロス削減に向けた5つの取組項目のうち、3つ以上を実践 申込書を提出するだけで登録完了！

取組項目	
① 情報提供	・食べきりメニューの提示 ・「取組協力店」のPR
② 情報収集	・お客様への聞き取り ・食べ残しの材料の種類や量の把握
③ 仕入・保存・調理	・無駄のない食材の確保 ・食材の使い切り
④ 料理提供	・希望量に応じた食事の提供 ・品出し方法の工夫
⑤ 有効活用	・料理の持ち帰り ・食品廃棄物のリサイクル

登録・更新料 無料!!

◆概要

食品ロスの削減の取組を実践する旅館・ホテル、飲食店等を登録し、その取組を広くPRする（H23.5～）

◆目的

県のホームページ等で取組を消費者等に広く紹介することにより、食品ロス削減に向けた県民運動を展開

◆登録店舗数

398店舗（R7.6.1現在）



登録店舗（県HP）



食品ロス削減の取組

ぶちエコ食品ロス削減パートナー登録制度



◆概要

食品ロスの削減の取組を実践する食品関連事業者（製造、流通、小売等）を登録し、その取組を広くPRする（R3.12～）

◆目的

県のホームページ等で取組を消費者等に広く紹介することにより、食品ロス削減に向けた県民運動を展開

◆登録事業者数

23事業者（R7.6.1現在）



登録事業者（県HP）

海洋ごみに関する取組

日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃



毎年5月～7月を『日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃』の集中期間とし、各地域で海岸清掃活動を実施

5月には、スタート清掃を実施し、海岸に漂着したごみを回収併せてマイクロプラに関する環境学習を開催（R7 荒天中止）



スタート清掃の様子



マイクロプラ環境学習の様子

海洋ごみに関する取組

海岸漂着物・河川ごみ実態調査



- 海岸漂着物調査：県内海岸における漂着物の経年的な組成と量の推移等を把握するため、組成調査を実施
- 河川ごみ実態調査：河川から海域に流出するごみの実態を把握するため、河川を流下するごみ量及び組成等の調査を実施



海岸漂着物実態調査の様子



採取した河川流下ごみ

生物多様性の保全について

◆自然共生サイトとは

30by30目標※達成のため、環境省では、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する取組を令和5年度から開始

※30by30目標

生物多様性条約COP15において、愛知目標に次ぐ新たな世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択され、2030年までに陸域30%、海域30%を保全する目標が設定された。

自然共生サイト認定促進について

現在 2 箇所



名 称：桜郷銅山跡農村公園
共生サイト

申請者：山口県、山口市

所有者：山口市



名 称：里山ビオトープ
二俣瀬

申請者：宇部市

所有者：宇部市

目標

2030年までに
7箇所

山口県の取組

①令和6年3月「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」に基づく「地域生物多様性増進活動支援センター」である「やまぐち生物多様性センター」を自然保護課内に設置

②生物多様性保全活動に取り組む企業等の登録・認証制度を創設

制度の概要について



やまぐち生物多様性

○対象者

- ・県内で事業活動を行っている企業（個人事業者を含む）
- ・県内で活動を行っている各種団体（NPO法人、ボランティア団体等）

○内容

（1）「やまぐち生物多様性応援企業・団体登録」

生物多様性保全の取組に賛同する企業・団体が宣言することで登録

（2）「やまぐち生物多様性パートナー企業・団体認定」

- ・「自然共生サイト」の認定をうけていること
- ・継続して生物多様性の保全活動に取り組んでいること
- ・センターの斡旋する生物多様性の保全活動へ協力していること

生物多様性保全に係るお願いについて

- ①「自然共生サイト」制度の周知
- ②山口県の実施である「やまぐち生物多様性応援宣言企業・団体登録」制度・「やまぐち生物多様性パートナー企業・団体認定」制度の周知
- ③企業や団体との会議の場における出前講座の実施の周知

狩猟免許試験のお知らせ

- ・ 山口県では、狩猟免許取得の経費助成や、各種研修を開催し、ハンターを目指す方をサポートしています。
- ・ ジビエに興味関心がある方、野生鳥獣による農林水産被害に直面される農林水産従事者の方など、狩猟免許の取得に興味のある方は自然保護課や農林（水産）事務所にお問い合わせください！



	日 時	場 所	申込期限
第1回	令和7年6月15日(日)	美祢市民会館 (美祢市大嶺町東分326-1)	6月4日(水) 午後5時
第2回	令和7年6月29日(日)	柳井市文化福祉会館 (柳井市柳井3718)	6月18日(水) 午後5時
第3回	令和7年7月13日(日)	山口県総合保健会館 (山口市吉敷下東3丁目1-1)	7月2日(水) 午後5時
第4回	令和7年8月3日(日)	下関市菊川ふれあい会館 (下関市菊川町下岡枝117)	7月23日(水) 午後5時
第5回	令和7年8月8日(金)	山口県立農業大学校 (防府市牟礼10318)	7月29日(火) 午後5時
第6回	令和7年8月31日(日)	ゆめプラザ熊毛 (周南市熊毛中央町1番1号)	8月20日(水) 午後5時

未来とつながる

KRY山口放送はSDGsを推進します

地域の公益メディアとして
取り組むこと。

県民に価値ある情報を伝え、
考え、行動してもらえれば、
よりよい社会
住み続けられる山口は
実現する。



世界の環境は、
日本・山口の
環境は、
30年後、
どうなっ
ているのか。

県民がどこまで環境問題を大切に考え、
行動してもらえるかはー

30年後の社会をイメージする力が大切。
30年後はZ世代が社会の中核に。

Z世代は、SDGsを「他人ごと」ではなく、
「自分ごと」としてとらえている。

課題

Z世代、若者に大切な情報が届いているのか？

Z世代：1990年代後半から2010年代初頭にかけて生まれた世代のこと

Z世代の特徴は—
脱炭素を含む
SDGs全般に
高い関心

しかし…
Z世代は
テレビ離れ世代
情報が届かない？

Z世代含む
コア層を重視

山口地区 2024年度 コア層 個人視聴率 ビデオリサーチ調べ	コア (13~49歳)	山口放送	A局	B局
	全日	2.4	2.0	1.3
	ゴールデン	5.1	4.1	2.8
	プライム	4.9	3.8	2.7

未来とつながるWEEK
住み続けられる山口のために

— 2022年1月キャンペーンスタート
未来を考える1週間
ラジオ、テレビ、SNSを通じSDGs特集を放送



未来とつながる WEEK

住み続けられる山口のために

2025年6月22日(日)～6月28日(土)

SDGs啓発のため実施するWEEKの第7弾です。今回も、防災や環境などをテーマとして取り組みを進めたいと考えています。

テーマは「住み続けられる山口のために」



KRY Morning Up

毎週月・金 あさ7:00-11:00

Monday	Tuesday	Wednesday
山根由紀夫 黒田あかり	中村衣里 竹島知江	山田伸司 竹島知江
Thursday	お昼はZETTAI	
橋本まきひろ 岡村麻子	毎週月・金 正午-4:00	
Friday 渡辺三千彦 青木京子		

どよーDA!

やまぐちの週末は

■毎週土曜日
■9:00-12:00
■パーソナリティ
竹重雅則・武藤ひさこ



KRY News Every

毎週月曜日～金曜日
■5:20-6:54

成田弘毅(月)～(水)
野口緒美(月)～(木)
山田伸司(木、金)
武藤ひさこ(金)
【気象予報士】
山本昇治
秋山幸輝

kry news every.

■毎週月曜日～金曜日
■ご3:50-7:00
■午後5時台
「らいふ」
畑中里咲(月)～(木)
中村衣里(金)
■午後6時15分～
高橋 良(月)～(木)
上田奈央(月)～(木)
田中泰平(金)
河野康子(金)

山口の全てがわかる夕方に!!

4ch 毎週月・金 5:20 5時台 6時15分



未来の鉄道に挑戦！バイオ燃料実証実験の舞台裏

2024年2月1日(木)／KRYさわやかモーニング

鉄道の未来に向けた実証実験を紹介します。山口県下関市で行われている環境にやさしい次世代燃料試験に迫ります。JR西日本は将来的にCO2排出量実質ゼロを目指し、植物由来のバイオ燃料を活用します。試験の舞台裏や香りの違い、試運転の様子など、興味深い情報をお届けします。バイオ燃料の課題や将来への展望も含め、鉄道の未来に迫ります。ぜひご覧ください！



海と陸の豊かさを守る

2024年2月2日(金)／熱血テレビ

周防大島の近海は日本有数の二ホンアワサンゴの群生地として知られています。2020年に土砂の流入による大規模な死滅が確認されるなど、二ホンアワサンゴの生育には陸の環境も大きく影響することが分かっています。周防大島では海の環境とともに、陸の環境もあわせて守っていくための取り組みが始まっています。



次世代エネルギー「水素」を身近に

2024年6月5日(水)／KRYさわやかモーニング

周南市は水素エネルギーの先進地を目指し、水素ステーション設置や水素自動車導入を進めていますが、課題も多いです。一方、トクヤマは水素化マグネシウムを開発し、安全かつ手軽な水素の運搬を可能にしました。これにより水素の普及と脱炭素社会の実現が期待されています。水素化マグネシウムは低コストで大量の水素運搬を可能にし、新たなエネルギーとしての水素の可能性を広げます。



高校生が考える社会課題解決のためのSDGsアクションアイデアコンテスト

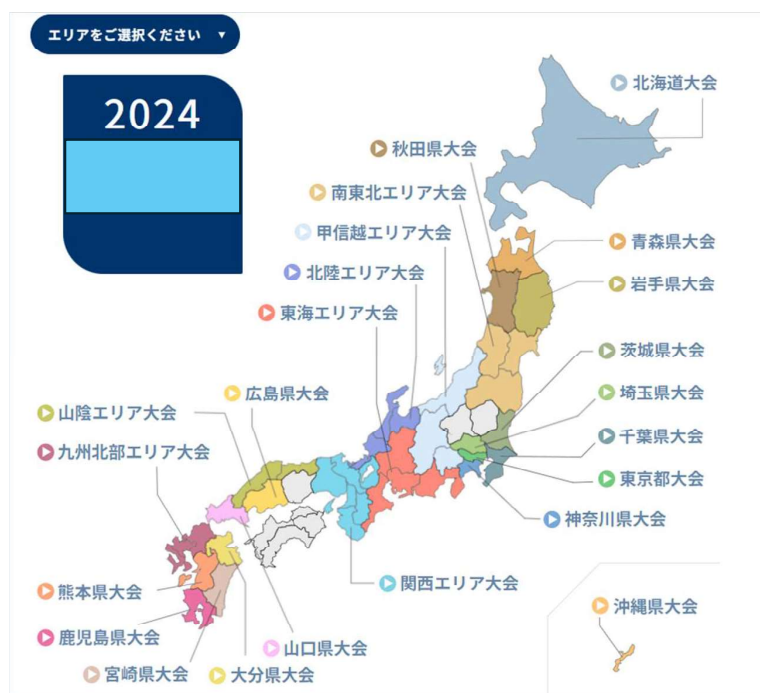
SDGs QUEST みらい甲子園

山口県代表チームになるのは君だ！

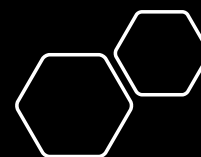
山口県大会



SDGs QUESTみらい甲子園は、2019年度に関西地区などで始まり2024年度には初の「山口県大会」を開催しました。山口放送は社会課題の解決に熱心に取り組む高校生を応援してまいります。



開催実績



2019年度から開催し、総勢1万人以上の高校生がチームを組み、素晴らしいSDGsアクションアイデアを生み出してきました。学校での取り組みや民間企業と連携して社会実装したアイデアもあります。



SDGs QUEST みらい甲子園とは

気候変動、エネルギー、生物多様性、ジェンダー、水...地球や人間社会にあるさまざまな問題をどうしたら解決していけるのか。SDGs QUEST みらい甲子園は、高校生がその解決策となる「SDGsアクション」のアイデアを考え、発表するコンテストです。より多くの人たちのアクションを促し、新しくそして楽しい発想に基づいたアイデアを表彰し、アクションを応援していきます。

募集要項

持続可能な社会を実現するために解決したい、あるいは変えたいと考える「探究テーマ(課題)」を一つ選び、その解決策となる具体的な「SDGsアクション」のアイデアを応募してください。

山口県の高校に通う1年生・2年生、2～6人で構成するチーム

※1名のみでの参加はできません。※チームの中に高校3年生も参加可。

参加条件

高校3年生のみのエントリーは不可

※中学生は同じ中高一貫校に所属する高校生と一緒に参加可。※通信、高専等参加可。
※部活や研究会など特段の理由がある場合、メンバーは最大10名まで可。

SDGsの目標達成に向けた高校生によるアクションアイデアプラン

- タイトル・チーム名・探究テーマとその選定理由
- 社会課題を解決するアクションのアイデアと関連ゴール
- SDGsアクションを広める方法・提案したSDGsアクションが促す変化

公式サイトにてテンプレート(PowerPoint、6ページ)をダウンロードし、それを雛形にして作成。PDF形式で保存し、公式サイトよりエントリーしてください。

提出形式

1次審査：書類審査
最終審査：5分以内のプレゼンテーション動画(後日提出)を加味した審査

※提出された動画は、後日公式サイト等で公開いたします。

応募方法



※エントリーには、メールアドレスが必要です。1つのメールアドレスで複数エントリーはできません。

2024年度山口県大会開催要項

主催：SDGs QUESTみらい甲子園 山口県大会実行委員会

共催：KRY山口放送

後援：国連広報センター、山口県、山口県教育委員会

企画・総合プロデュース：SDGs.TV 公式ホームページ：<https://sdgs.ac>

【実施スケジュール】

2024年 9月20日 エントリー受付開始（全国一斉）

2025年 3月24日 ファイナルセレモニー開催

※2024年度大会には県内の24の高校から96チーム、のべ378人から応募。

※ファイナルには12チームが参加。アクションアイデア賞、各協賛企業賞決定。

SDGs QUEST アクションアイデア 最優秀賞		山口県立岩国工業高等学校 車椅子で渡り隊 錦帯橋バリアフリー化 ～車いすで錦帯橋を渡ろうプロジェクト～
トクヤマ賞		山口県立萩商工高等学校 萩商工高等学校 カーボンニュートラル班 教室断熱リノベーションプロジェクト 快適な学習環境の実現

山口放送は
開局70周年を
迎えます。
開局以来、
環境美化の
取り組みを
続けてまいりました。

山口県は、三方を海に囲まれた自然豊かな故郷です。山口県初の民間放送局として、山口放送は1956年（昭和31年）に開局。開局した昭和30年代は、高度経済成長の陰で、山口県でも豊かな自然が失われ始める時代でもありました。環境美化の取り組みは、年々、山口県の重要な課題になっていました。

山口放送では、かけがえのない自然を守り続けようと、1975年(昭和50年)に創業20周年記念事業として「ふるさとの川を美しく」「花とみどりのふるさとを」のキャンペーンを開始しました。

また翌1976年(昭和51年)には財団法人「山口放送環境美化財団」を設立、現在は、「公益財団法人山口放送みらい財団」として活動し、自主的に清掃活動等を行っている団体を助成するなど、幅広い環境美化活動を推進しています。

環境美化の 取り組み



環境意識の醸成を目的として、1975年(昭和50年)に「ふるさとの川を美しく」「花とみどりのふるさとを」の公共キャンペーンをスタート。継続して環境美化への意識や行動を啓発してまいりました。次世代を担う子どもたちのために、美しいふるさとをつなげていく活動を続けてまいります。



ふるさとの川を美しく
藍場川(萩市)



河川愛護優良団体表彰
吉敷地区環境づくり推進協議会



緑化活動モデル指定地区団体
中津江親睦会

イベント・ キャンペーン



テレビメディアの特性を活かし、福祉の実情と支援の必要性を社会に伝えるとともに、募金活動に取り組んでいる「24時間テレビ」。集まった寄付金は、「福祉」「環境」「災害復興」支援に役立てています。また、国内外の芸術家、アーティストの展覧会やコンサートの開催による地域の芸術文化振興。山口放送は、地域貢献に積極的に取り組みます。



24時間テレビ：街頭募金



点字カレンダー贈呈



メディアリテラシー：読み聞かせ

まとめ

住み続けられる
山口のために

公益・地域メディアが
取り組むこと。

県民に価値ある情報を届け、
未来を考え行動してもらいたい。

特に未来を決めるZ世代に向けて
コンテンツを制作する。

地元企業、自治体、教育機関、
市民との連携を強化する。

放送を核にした取り組みで、脱炭素・循環型社会、
「住み続けられる山口」の実現に寄与したい。

温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち活動紹介

温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち活動紹介

・山口市地球温暖化対策地域協議会(温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち)とは
山口市が地球温暖化対策に関する普及啓発活動を委託し、市域の温室効果ガス排出量削減のために、市民・事業者・民間団体・行政などのあらゆる主体が連携して、様々な取組を実施。

【設 立】平成20年8月

【会員構成】企業や大学などの会員:30団体、個人会員:81名(令和7年4月1日時点)

【主な活動】・各種イベントへの出展を通じた普及啓発

・環境学習講座の実施

・夏休みエコチェックシートの実施

・エシカル消費の啓発

・研修事業の実施 など



協議会キャラクター
とめ麻呂くん

毎月の月例会で会員と意見交換を行い、
連携を図りながら、事業を企画・運営

市民が楽しみながら学び、
体験できる事業を展開



・各種イベントへの出展を通じた普及啓発

イベントでの体験を通じて、環境について考えてもらう、きっかけづくりを行う。

【出展イベント】アースデイやまぐち、青空天国いこいの広場、公共交通ふれあいフェスタ など

【令和6年度参加者】1,740名

【エアロバイク発電体験】



【Myデコ活宣言】

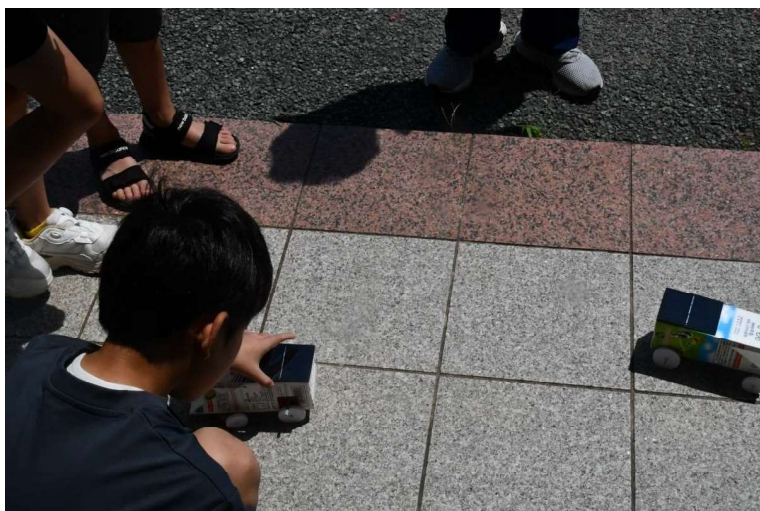


・環境学習講座の実施

地球温暖化に関する座学や、太陽光発電を活用した工作教室など環境に関する50の講座を用意。協議会の会員が講師となり、様々な主体で実施。

【令和6年度受講実績】524名(保育園、小学校、放課後児童クラブ、子ども会など)

【ミニソーラーカー工作教室】



・夏休みエコチェックシートの実施

市内の小学4年生を対象に夏休み期間中、毎日少しずつ省エネ・節電等に取り組み、エコに関する意識づけにつなげるもの。【令和6年度参加者】1,203名(28校)

【平成27年度から10年間実施(令和7年度も実施)】

参加児童数・学校数は、総児童数・学校数が減少する中でも年々増加してきており、本取組が市内各小学校で定着してきている。令和6年度は75%を超える児童が参加。

小学校
年 組 番

夏休みエコチェックシート

大きく成長した杉の木は、1年間で平均して約14kgの二酸化炭素(CO₂)を吸収するよ!

できたところを色鉛筆でぬってぶー

エコチェックメニュー	取り組み日(8月)																															できた日数 (A)	100%達成 の日数 (B)	達成率 (A)×(B)	
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日				
① 朝・晩 起床後 早寝早起きをする。																																	28	度	度
② 飲みがきのとき、水を出しっぱなしにしない。																																	7	度	度
③ ごはんを残さず食べる。																																	—	度	度
④ 歯磨きをこまめに済す。																																	6	度	度
⑤ テレビを見る時間を1日1時間減らす。																																	22	度	度
⑥ スマホやタブレットを1日1時間減らす。(家族共用時)																																	7	度	度
⑦ エアコンの活用は室温26度を目安にして使う。																																	132	度	度
⑧ 冷蔵庫を開けている時間を短くする。																																	0	度	度
⑨ 缶やペットボトルは中を洗ってから分別する。																																	—	度	度
⑩ 緑のカーテンを育ててみる(水やり)																																	—	度	度

①～⑩は、必ず取り組んでください。
⑪～⑫は、この中から自分が取り組みたいものを家の人と相談して2つ以上選んで、丸印を書き込んでください。

取り組み感想を書いてみよう!

おうちの人がらひとこと

ため商品くんから

①～⑩の合計

・エシカル消費の啓発

サステナブルラベルへの認知度を向上や、買い物などにおけるエシカル消費の実践を促すことを目的としたキャンペーンを実施。

サステナブルラベルを集めて応募しよう!

抽選で **40** 名様に
「市内特産品詰め合わせ」や
市内スーパーの
商品券または電子ポイント
エシカル商品等をプレゼント!

エシカル消費につながる“やさしい物”についているサステナブルラベルがあります
日々の中で何気なく買っているものを、サステナブルラベルで選んでみよう!

「エシカル消費」
って知ってる?!

身近な社会でも、世界でも、抱えている問題がたくさんあります
地球温暖化、食品ロス、途上国の児童労働、フードマイレージ、海洋汚染……
それらを解決するための一つの方法として、エシカル消費があります

- * 環境にやさしい消費…環境への負荷が少ない商品を選ぶ
- * 人や社会にやさしい消費…みんなが暮らしやすい社会に役立つ商品を選ぶ
- * 地域にやさしい消費…地域の活性化に繋がる商品を選ぶ



・研修事業の実施

【新規事業】

「脱炭素まちづくりカレッジ」

脱炭素に関する基礎知識や持続可能なまちづくりについて、カードゲーム形式で、どうすれば2030年までに温室効果ガス排出量を半減できるのかを参加者が様々な主体となって疑似体験するプログラムを講師を招き実施。

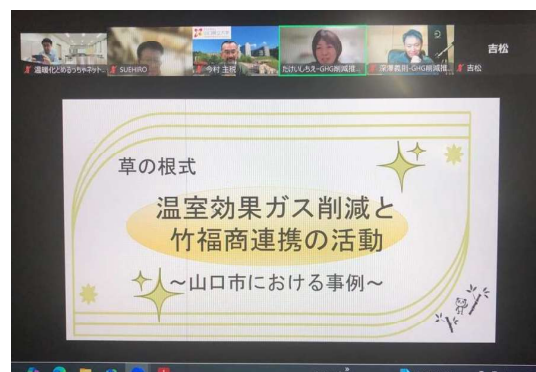
「4パーミルイニシアチブセミナー」(オンライン)

地球温暖化対策の一つとして、4パーミルイニシアチブを知ろうという趣旨で、地球温暖化の進行を止める取組の事例紹介として、問題となっている放置竹林の枯竹を炭化し活用されている取組や炭の利活用した時の様々な効果などを講師から学んだ。

【令和6年度受講実績】 計29名(会員・一般・高校生・大学生)



【脱炭素まちづくりカレッジ】



【4パーミルイニシアチブセミナー】

温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち活動紹介

・まとめ

とめるっちゃでは、市域の温室効果ガス排出量削減に向けて、

市民・事業者・民間団体・行政等のあらゆる主体が積極的に連携して、取り組んでいくことを心がけています。

脱炭素を進める暮らし



周防大島町 取組紹介



周防大島町役場 産業建設環境部
生活衛生課 生活衛生班

大谷 快

生活衛生課 業務概要

生活衛生班

- 廃棄物関係
- 環境保全関係
- 地球温暖化対策
- 斎場・墓地関係
- 犬・猫

公営住宅班

- 町営住宅に関すること
- 若者定住促進住宅

『ゼロカーボンフェスタ in 周防大島』

開催

令和6年9月29日



講演会

『マリカ先生の笑って学ぶゼロカーボン』

講師

環境教育インストラクター マリカ先生





他が「いいね！」しまし

た

#ゼロカーボンフェスタ に
行ってきました。
ワークショップの予約をしてなかったけど、エコバッグのワークショップが空いていたので急遽参加しました。

お昼は、ビーサンのタコスとマギーズキッチンのカレー。
辛めのジンジャーが美味しい年齢になりました。

下の子が寝そうだったので、午後の講演会は参加しなかったけど、受付でもらった資料を読んだ長男が、家の周りのゴミを10分探すと言って出ていきました。
やるな、こいつ。

#周防大島

周防大島町ゼロカーボンシティ宣言





周防大島町ゼロカーボンシティ宣言

周防大島町は、豊かな自然と歴史、そして温かい人々が育む美しい島です。私たちはこの美しい島を、次世代に引き継いでいく責任があります。

気候変動は、私たちの生活や自然環境に深刻な影響を与えています。この危機を乗り越え、持続可能な未来を築くために、周防大島町は2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

この目標達成のため、町民・事業者・町が一体となり、暮らしのあらゆる場面において、省エネ・再生可能エネルギーの利用・循環型社会の実現に向けて行動していきましょう。また、地域全体で、自然との共生、新たな産業の創出を図り、持続可能な社会の構築を目指しましょう。

この宣言を機に、周防大島町民を代表して、ゼロカーボン社会の実現に向けて、主体的に行動することを誓います。そして、周防大島町を、自然と共生し、未来を創る、活力ある持続可能なまちへと発展させていきます。

令和6年9月29日

周防大島町長

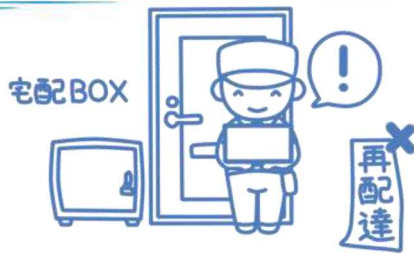
藤本 浄孝



地方公共団体実行計画 (区域施策編) 等 策定

宣言して、終了ではなく
具体的に、何をするか
実行ベースで検討する計画づくり
～行政だけでなく、町民・事業者と共に～

その他
取組



① 宅配ボックス設置促進補助金



② 海ごみゼロ啓発の取り組み



③ 公用車に電気自動車導入、日産自動車(株)との連携協定、町内公共施設にEV充電器設置

今後の展望

- 
- ◆ 様々な政策をバラバラに実施するのではなく、関係性を整理し、関連部署が連携して実施すること。
 - ◆ 行政だけでなく、地域の町民・事業者一丸でビジョンを共有しながら、よりよい周防大島町を目指す。
 - ◆ 町民・事業者が取り組みしやすい素地づくりを急ぐ。
- 

環境やまぐち推進会議構成団体の取組状況

I 令和6年度実施結果

(回答: 96/96 団体)

	団体・法人名	1. 脱炭素社会の形成について							2. 循環型社会の形成						3. 自然との共生			
		① ウグ オール ムビズ・	② 動ノ マイ カー運	③ エコ ドライ ブ	④ ライ トダ ウン	⑤ 緑の カー テン	⑥ 普及 啓発 ・広 報等 の	⑦ その 他	① 食 品ロ ス削 減	② マイ バッ グ運 動	③ 3R の推 進	④ 清掃 環境 美化 ・一 斉	⑤ 普及 啓発 ・広 報等 の	⑥ その 他	① 生 物多 様性 保全	② 全 植 物・ 森林 等保	③ 普及 啓発 ・広 報等 の	④ その 他
1	山口県地域消費者団体連絡協議会						○		○	○	○		○					
2	山口県消費者団体連絡協議会						○		○	○	○		○				○	
3	山口県生活学校・生活会議推進協議会	○		○		○	○		○			○	○			○	○	
4	山口県生活改善実行グループ連絡協議会					○		○	○			○		○				○
5	山口県連合婦人会	○		○		○			○	○	○	○			○	○		
6	(公社) 日本青年会議所中国地区山口ブロック協議会	○							○		○							
7	(公社) 山口県快適環境づくり連合会	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
8	山口県自然観察指導員協議会	○		○	○		○			○	○	○	○		○	○	○	
9	やまぐち自然共生ネットワーク														○	○	○	
10	地球温暖化防止活動推進員代表	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○		
11	山口県経営者協会	○					○						○				○	
12	山口県経済同友会	○	○				○						○				○	
13	山口県商工会議所連合会	○					○				○		○				○	
14	山口県商工会連合会	○			○								○				○	
15	山口県中小企業団体中央会	○		○	○		○	○		○	○		○				○	
16	山口県農業協同組合中央会	○																
17	山口県漁業協同組合	○									○	○			○	○	○	
18	山口県森林組合連合会	○									○				○	○		
19	(公社) 山口県バス協会	○	○															
20	(一社) 山口県トラック協会	○		○			○						○				○	
21	錦川流域ネット交流会	○		○					○	○		○			○		○	
22	棚田清流の会	○		○						○		○			○	○		
23	(一社) 山口県周南清港会	○		○								○	○	○				○
24	(一社) 山口県産業廃棄物協会	○		○							○	○	○	○				○
25	(一財) 下関21世紀協会 (下関景観協議会)	○	○									○						○
26	長府扇町安全協議会	○		○	○	○	○					○	○				○	
27	山口県海岸漂着物対策推進協議会										○	○	○					
28	やまぐち省エネ・エコポイント協議会								○	○	○							
29	UBE三菱セメント株式会社 (やまぐちエコ市場)				○							○				○		
30	東ソー(株)(やまぐちエコ市場)	○	○		○	○		○			○	○			○	○		
31	(株) トクヤマ(やまぐちエコ市場)	○	○		○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
32	中国電力(株)	○	○	○	○		○				○	○	○					

	団体・法人名	1. 脱炭素社会の形成について							2. 循環型社会の形成						3. 自然との共生			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④
		ウォール ムビズ・ オズ・	動 ノ マイ カー 運	エコ ドライ ブ	ライ ト ダ ウ ン	緑 の カー テン	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	食 品 ロ ス 削 減	マイ バ ッ グ 運 動	3 R の 推 進	清 掃 環 境 美 化 ・ 一 斉	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	生 物 多 様 性 保 全	全 植 物 ・ 森 林 等 保	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の
33	山口合同ガス（株）	○		○	○								○					
34	（株）西京銀行	○						○				○						
35	（株）山口銀行	○										○	○					
36	日本放送協会山口放送局	○			○						○	○						
37	テレビ山口（株）	○			○							○						
38	山口朝日放送（株）	○		○			○						○				○	
39	山口放送（株）	○		○			○					○	○				○	
40	（株）エフエム山口	○		○	○		○					○	○				○	
41	山口大学大学院創成科学研究科	○	○	○	○		○		○			○	○			○	○	
42	山口大学工学部	○	○	○	○	○			○	○	○	○						
43	山口大学大学院技術経営研究科 （気候変動対策部会）	○	○	○			○			○	○	○	○				○	
44	山口東京理科大学工学部		○									○						
45	山口県エコキャンパス取組促進協議会																	
46	県立南陽工業高等学校 （やまぐちエコリーダーズスクール）	○	○	○	○			○	○			○		○				
47	長門市立仙崎中学校 （やまぐちエコリーダーズスクール）	○					○		○			○				○		
48	山口市立白石小学校 （やまぐちエコリーダーズスクール）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
49	宇部市地球温暖化対策ネットワーク	○					○				○		○				○	
50	山口市地球温暖化対策地域協議会	○	○				○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
51	萩市快適環境づくり推進協議会	○	○		○	○	○		○		○	○	○					○
52	防府市地球温暖化対策地域協議会					○												
53	下松市地球温暖化対策地域協議会					○									○		○	
54	岩国市地球温暖化対策地域協議会	○				○	○	○	○	○	○		○	○				
55	光市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○	○	○	○					○						
56	長門市快適環境づくり推進協議会					○	○					○					○	
57	柳井市地球温暖化対策地域協議会					○	○	○	○		○	○	○				○	
58	美祢市快適環境づくり推進協議会								○		○	○	○					
59	周南市温暖化対策地域協議会						○	○										
60	山陽小野田市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○	○	○	○									○		
61	周防大島町快適環境づくり推進協議会	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○				○	
62	和木町快適環境まちづくり町民会議					○	○					○						
63	上関町快適環境づくり推進協議会	○										○						
64	田布施町快適環境づくり推進協議会	○		○			○		○	○	○	○	○					
65	平生町快適環境づくり推進協議会													○				

	団体・法人名	1. 脱炭素社会の形成について							2. 循環型社会の形成						3. 自然との共生					
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④		
		ウォール ムビズ・ オズ・	動 ノ マイ カー 運	エコ ドライ ブ	ライ ト ダ ウ ン	緑 の カー テン	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	そ の 他	食 品 ロ ス 削 減	マイ バ ッ グ 運 動	3 R の 推 進	清 掃 環 境 美 化 ・ 一 斉	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	そ の 他	生 物 多 様 性 保 全	全 植 物 ・ 森 林 等 保	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の
66	阿武町地球温暖化対策地域協議会										○	○								
67	(公財) 山口県ひとづくり財団 県民学習部環境学習推進センター	○		○		○	○		○	○	○	○	○		○	○	○			
68	県地球温暖化防止活動推進センター	○	○	○	○		○					○	○					○		
69	山口県気候変動適応センター	○	○	○			○	○				○	○		○			○		
70	在山官公衛連絡会常任幹事山口行政監視 行政相談センター																			
71	下関市環境部環境政策課 (下関市地球温暖化対策実行計画推進協議会)	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○					
72	宇部市市民環境部環境政策課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○			
73	山口市環境部環境政策課	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			
74	萩市市民生活部環境衛生課	○	○		○	○	○		○		○	○	○							○
75	防府市生活環境部生活安全課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○			
76	下松市生活環境部環境推進課	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○		○			
77	岩国市環境部環境保全課	○	○	○		○	○	○	○				○			○	○			
78	光市環境市民部環境政策課	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○				
79	長門市市民生活部生活環境課	○	○	○		○	○		○		○	○			○					
80	柳井市市民部市民生活課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○		
81	美祢市市民福祉部生活環境課	○	○	○		○			○	○	○	○	○							
82	周南市環境生活部環境政策課	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			
83	山陽小野田市市民部環境課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○				
84	周防大島町産業建設環境部生活衛生課	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○		
85	和木町住民サービス課	○		○		○	○				○	○	○							
86	上関町住民課	○					○				○	○	○							
87	田布施町町民福祉課	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○							
88	平生町環境政策室	○	○								○	○	○	○						
89	阿武町健康福祉課	○		○	○		○		○	○	○	○	○							
90	山口県環境生活部環境政策課	○	○	○	○		○	○		○	○	○								
91	山口県環境生活部廃棄物・リサイクル 対策課	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○							
92	山口県環境生活部自然保護課	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○			
93	山口県商工労働部商政課	○	○	○	○						○									
94	山口県観光スポーツ文化部交通政策課	○	○	○	○					○	○									
95	山口県農林水産部農林水産政策課	○	○	○	○															
96	山口県教育庁高校教育課	○		○			○		○		○					○				
		77	39	52	40	35	56	20	41	34	55	65	56	11	25	27	39	8		

2 令和7年度実施計画

(回答: 96/96 団体)

	団体・法人名	1. 脱炭素社会の形成について							2. 循環型社会の形成						3. 自然との共生					
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④		
		ウォール ムビズ・ 動ノ マイカー 運	エ コ ド ラ イ ブ	ラ イ ト ダ ウ ン	緑 の カ ー テ ン	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	そ の 他	食 品 ロ ス 削 減	マ イ バ ッ グ 運 動	3 R の 推 進	清 掃 環 境 美 化 ・ 一 斉	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	そ の 他	生 物 多 様 性 保 全	全 植 物 ・ 森 林 等 保	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	そ の 他
1	山口県地域消費者団体連絡協議会						○		○	○	○		○							
2	山口県消費者団体連絡協議会						○		○	○	○		○					○		
3	山口県生活学校・生活会議推進協議会	○		○		○	○		○			○	○				○	○		
4	山口県生活改善実行グループ連絡協議会					○		○	○		○			○						○
5	山口県連合婦人会	○		○		○			○	○	○	○			○	○				
6	(公社) 日本青年会議所中国地区山口 ブロック協議会	○							○		○									
7	(公社) 山口県快適環境づくり連合会	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○			
8	山口県自然観察指導員協議会	○		○	○		○			○	○	○	○		○	○	○			
9	やまぐち自然共生ネットワーク														○	○	○			
10	地球温暖化防止活動推進員代表	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○				
11	山口県経営者協会	○					○						○					○		
12	山口経済同友会	○	○				○						○					○		
13	山口県商工会議所連合会	○					○				○		○					○		
14	山口県商工会連合会	○			○								○					○		
15	山口県中小企業団体中央会	○		○	○		○	○		○	○		○					○		
16	山口県農業協同組合中央会	○																		
17	山口県漁業協同組合	○									○	○			○	○	○			
18	山口県森林組合連合会	○									○	○			○	○				
19	(公社) 山口県バス協会	○	○																	
20	(一社) 山口県トラック協会	○		○			○						○					○		
21	錦川流域ネット交流会	○		○					○	○		○			○			○		
22	棚田清流の会	○		○						○		○			○	○				
23	(一社) 山口県周南清港会	○		○								○	○	○						○
24	(一社) 山口県産業廃棄物協会	○		○							○	○	○	○						○
25	(一財) 下関21世紀協会 (下関景観協議会)	○	○									○								○
26	長府扇町安全協議会	○		○	○	○	○					○	○					○		
27	山口県海岸漂着物対策推進協議会										○	○	○							
28	やまぐち省エネ・エコポイント協議会								○	○	○									
29	UBE三菱セメント株式会社 (やまぐちエコ市場)				○							○					○			
30	東ソー（株）（やまぐちエコ市場）	○	○		○	○		○			○	○			○	○				
31	（株）トクヤマ（やまぐちエコ市場）	○	○		○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	中国電力（株）	○	○	○	○		○				○	○	○							
33	山口合同ガス（株）	○		○	○								○							

	団体・法人名	1. 脱炭素社会の形成について							2. 循環型社会の形成						3. 自然との共生			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④
		ウォール ムビズ・	動ノ マイカー 運	エコ ドライブ	ライ トダウ ン	緑の カー テン	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	食 品 ロ ス 削 減	マイ バ ッ グ 運 動	3 R の 推 進	清 掃 環 境 美 化 ・ 一 斉	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	生 物 多 様 性 保 全	全 植 物 ・ 森 林 等 保	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の
34	(株) 西京銀行	○	○					○				○						
35	(株) 山口銀行	○										○	○					
36	日本放送協会山口放送局	○			○		○				○	○	○					
37	テレビ山口 (株)	○			○							○						
38	山口朝日放送 (株)	○	○	○			○						○				○	
39	山口放送 (株)	○		○			○					○	○				○	
40	(株) エフエム山口	○		○	○		○					○	○				○	
41	山口大学大学院創成科学研究科	○	○	○	○		○		○			○	○			○	○	
42	山口大学工学部	○	○	○	○	○			○	○	○	○						
43	山口大学大学院技術経営研究科 (気候変動対策部会)	○	○	○			○			○	○	○	○				○	
44	山口東京理科大学工学部		○									○						
45	山口県エコキャンパス取組促進協議会																	
46	県立南陽工業高等学校 (やまぐちエコリーダーズスクール)	○	○	○	○			○	○			○		○			○	
47	長門市立仙崎中学校 (やまぐちエコリーダーズスクール)	○					○		○		○	○				○		
48	山口市立白石小学校 (やまぐちエコリーダーズスクール)	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
49	宇部市地球温暖化対策ネットワーク	○					○				○		○				○	
50	山口市地球温暖化対策地域協議会	○	○				○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
51	萩市快適環境づくり推進協議会	○	○		○	○	○		○		○	○	○					○
52	防府市地球温暖化対策地域協議会					○												
53	下松市地球温暖化対策地域協議会					○									○		○	
54	岩国市地球温暖化対策地域協議会	○				○	○	○	○	○	○		○	○				
55	光市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○	○	○	○					○						
56	長門市快適環境づくり推進協議会					○	○					○					○	
57	柳井市地球温暖化対策地域協議会					○	○	○	○		○	○	○				○	
58	美祢市快適環境づくり推進協議会								○		○	○	○					
59	周南市温暖化対策地域協議会						○	○										
60	山陽小野田市地球温暖化対策地域協議会	○	○	○	○	○	○									○		
61	周防大島町快適環境づくり推進協議会	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○				○	
62	和木町快適環境まちづくり町民会議					○	○					○						
63	上関町快適環境づくり推進協議会	○										○						
64	田布施町快適環境づくり推進協議会	○		○			○		○	○	○	○	○					
65	平生町快適環境づくり推進協議会													○				
66	阿武町地球温暖化対策地域協議会										○	○	○					

	団体・法人名	1. 脱炭素社会の形成について							2. 循環型社会の形成						3. 自然との共生			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④
		ウォール ムビズ・	動ノ マイカー 運	エコ ドライブ	ライ トダウ ン	緑の カー テン	普 及 啓 発	講 座 ・ 広 報 等 の	食 品 ロ ス 削 減	マ イ バ ッ グ 運 動	3 R の 推 進	清 掃 環 境 美 化 ・ 一 斉	普 及 啓 発 ・ 広 報 等 の	講 座 ・ 広 報 等 の	生 物 多 様 性 保 全	全 植 物 ・ 森 林 等 保	普 及 啓 発 ・ 広 報 等 の	講 座 ・ 広 報 等 の
67	(公財) 山口県ひとつづくり財団 県民学習部環境学習推進センター	○		○		○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
68	県地球温暖化防止活動推進センター	○	○	○	○		○					○	○				○	
69	山口県気候変動適応センター	○	○	○			○	○				○	○		○		○	
70	在山官公衛連絡会常任幹事山口行政監視 行政相談センター																	
71	下関市環境部環境政策課 (下関市地球温暖化対策実行計画推進協議会)	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○			
72	宇部市市民環境部環境政策課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
73	山口市環境部環境政策課	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
74	萩市市民生活部環境衛生課	○	○		○	○	○		○		○	○	○					○
75	防府市生活環境部生活安全課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	
76	下松市生活環境部環境推進課	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○		○	
77	岩国市環境部環境保全課	○	○	○		○	○	○	○			○	○			○	○	
78	光市環境市民部環境政策課	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○		
79	長門市市民生活部生活環境課	○	○	○		○	○		○		○	○			○			
80	柳井市市民部市民生活課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
81	美祢市市民福祉部生活環境課	○	○	○		○			○	○	○	○	○					
82	周南市環境生活部環境政策課	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
83	山陽小野田市市民部環境課	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○		
84	周防大島町産業建設環境部生活衛生課	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	
85	和木町住民サービス課	○		○		○	○				○	○	○					
86	上関町住民課	○					○				○	○	○					
87	田布施町町民福祉課	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○					
88	平生町環境政策室	○	○								○	○	○	○				
89	阿武町健康福祉課	○		○	○		○		○	○	○	○	○					
90	山口県環境生活部環境政策課	○	○	○	○		○	○		○	○	○						
91	山口県環境生活部廃棄物・リサイクル 対策課	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○					
92	山口県環境生活部自然保護課	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	
93	山口県商工労働部商政課	○	○	○	○						○							
94	山口県観光スポーツ文化部交通政策課	○	○	○	○					○	○							
95	山口県農林水産部農林水産政策課	○	○	○	○													
96	山口県教育庁高校教育課	○		○			○		○		○					○		
		77	41	52	40	34	57	19	41	34	56	67	58	12	25	27	40	8

3 その他の取組事例等

	団体・法人名	概要等
4	山口県生活改善実行グループ連絡協議会	1. 脱炭素社会の形成 ■ 植栽活動（各地域の花壇や遊休地で花を栽培）、情報資料の送付 2. 循環型社会の形成 ■ 情報資料の送付 3. 自然との共生 ■ 植栽活動（各地域の花壇や遊休地で花を栽培）、情報資料の送付
8	山口県自然観察指導員協議会	4. その他 ■ 本会では、今秋、5年ぶりに山口県：国立山口徳地青少年自然の家において、指導員講習会を開催する予定です。環境問題や環境保全活動等に関心のある方は、ご検討ください。
15	山口県中小企業団体中央会	1. 脱炭素社会の形成 ■ 令和6年度に引き続き、令和7年度も、県受託事業「やまぐち中小企業脱炭素化促進支援事業」を活用し、県内中小企業に対し脱炭素経営に向けた意識付けを行う。具体的には、支援機関向けセミナー、事業者向け普及啓発セミナーの開催、事業者に対するCO₂排出量測定支援及び脱炭素化コンサルティング支援を実施。
23	(一社)山口県周南清港会	2. 循環型社会の形成 ■ 他団体との海岸漂着及び海底清掃 3. 自然との共生 ■ 海面浮遊物除去
24	(一社)山口県産業廃棄物協会	2. 循環型社会の形成 ■ 山口大学との合同研修会：「プラスチック製品」、「食品」、「衣料」など身近なものをテーマとし、製造から廃棄、再生利用に至るまでの問題点や解決策及びビジネスモデルの創出について会員と学生が討論し、その成果を発表する研修会を実施した。(令和7年度も実施予定：討論テーマは検討中) ■ 小学校、中学校、高校における環境出前授業(令和7年度は小学校1校から申込があり、準備中) 3. 自然との共生 ■ 協会8支部による不法投棄廃棄物回収ボランティア活動
25	(一財)下関21世紀協会(下関景観協議会)	4. その他 ■ 下関花いっぱい計画 下関市の中心部である唐戸から竹崎町までの国道9号線沿いの花壇に、6月と12月の第1日曜日に下関市民や周辺企業が花苗の植付を行い、その後定期的に水やり、草抜き、花壇周辺の清掃活動等を行っています。 ■ 平成14年に国土交通省、下関市、下関景観協議会(弊協会理事長が代表世話人)と3者でボランティアロード協定を締結し、この通りを「海峡花通り」と命名しました。現在では、多くの市民や観光客に親しまれています。
30	東ソー(株) (やまぐちエコ市場)	1. 脱炭素社会の形成 ■ 各種省エネ活動の推進 ■ バイオマスの電力設備での有効利用 ■ 朝型勤務を実施 ■ 渋滞緩和のための時差出勤

	団体・法人名	概要等
31	(株) トクヤマ (やまぐちエコ市場)	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ 製造プロセス・事務所の省エネ ■ バイオマス燃料の活用 ■ 水素ワクワクみらい博へ参画（令和3年度～） ■ 自家発電所の燃料転換検討（周南コンビナートアンモニア供給拠点整備基本検討事業に参画） ■ GXリーグ参画（令和5年度～） ■ 周南コンビナート脱炭素推進協議会等への参画 ■ 社内啓発ビラの作成 ■ 第1回素材工場の脱炭素化展で周南コンビナートおよび当社取組みについて講演（令和6年10月） ■ 低炭素社会形成に寄与する研究／検討（バイオマス燃焼灰の有効活用とCCS実現、環境循環型メタノール検討 ■ ブラックペレット開発用パイロットプラント建設（令和7年10月完成予定） ■ 水素化マグネシウムの量産開始 ■ カレット製造工程の燃料転換検討（C重油／灯油→LNG） ■ ソーダ灰製造CO₂吸収効率アップ開発開始 ■ 荏原グループ共同と共同で水素焚吸収冷温水機実証試験（令和6年8月～） ■ フジタとバイオ炭インタロッキングブロックを共同開発 <u>2. 循環型社会の形成</u> ■ セメント製造において廃棄物・副産物を原燃料として活用 ■ 自家発電設備においてバイオマス燃料・リサイクル燃料を活用 ■ 事務所発生ごみの分別・再資源化 ■ 会社周辺のゴミ拾い（クリーンアップ活動） ■ 山口エコテック（ごみ焼却灰のセメント原料化）・セメント製造を山口県知事・山口県労働産業部長に紹介（令和6年7月） ■ 「太陽光パネル低温熱分解リサイクル技術」とその事業化に向けた取組みをラジオで紹介（令和6年12月） <u>3. 自然との共生</u> ■ サステナビリティ基本原則を制定し、地球温暖化防止・生物多様性に配慮することを明文化（令和5年度～） ■ 生物多様性保全方針を制定し、経団連生物多様性宣言イニシアチブに賛同 ■ 森と水の交流会 ■ 竹林伐採ボランティア：枝打ち、間伐、下草刈り、玉切りなど ■ レノファ山口と連携した「竹クラーベ製作」に関わる取組み（各種イベント・環境&スポーツ教室など） ⇒割れた「竹クラーベ」を回収して発電燃料とする取組み - 令和7年度テスト予定（上記1. 及び2. とも関連） ■ 周南市環境学習プログラムへの協力 ■ 藻で産業を作るプロジェクト「MATSUR I プロジェクト」に法人パートナーとして参画（令和4年度～） ■ 自然関連財務情報開示タスクフォースに賛同（令和6年6月）し、TNFD準備レポートを発行（令和6年8月）

	団体・法人名	概要等
33	山口合同ガス（株）	4. その他 ■ 令和5年4月からカーボン・オフセット都市ガス／LNGの販売を開始 ■ カーボン・オフセット都市ガス（地球環境貢献型）で契約実績（令和7年4月時点で10契約）
36	日本放送協会山口放送局	4. その他 ■ 『2. 循環型社会の形成』及び『3. 自然との共生』に関しては、放送局として、NHK全体で、関連するテーマのニュースや番組などの発信に取り組んでいる。
39	山口放送（株）	4. その他 ■ 自社制作の番組内でSDGsに関連する企画を放送するなど、年に2回程度キャンペーンを実施しています。そのほかの取り組みをまとめた下記、弊社ホームページをご確認ください。 https://www.kry.co.jp/special/SDGs/ ■ 公益財団法人 山口放送みらい財団で、長年、環境美化団体を表彰するなどしております。添付資料をご覧ください。
41	山口大学大学院創成科学研究科	4. その他 ■ グリーン社会の実現に貢献するため「山口大学グリーン社会推進研究会」を設立 ■ 社会連携講座「美祢・萩ジオパーク推進講座」を設置
46	県立南陽工業高等学校（やまぐちエコリーダースクール）	1. 脱炭素社会の形成 ■ 地域連携活動「地域環境ミーティング」新南陽高等学校、東ソー(株)との協力による清掃活動 2. 循環型社会の形成 ■ 各教室のごみ箱設置を止め、ごみの減量に取り組んでいる。（やまぐちエコリーダースクール認証校活動）
48	山口市立白石学校（やまぐちエコリーダースクール）	1. 脱炭素社会の形成 ■ 服のチカラプロジェクト（衣類を開発途上国に送る活動）、つくし活動（資源回収活動）など 2. 循環型社会の形成 ■ 給食の残さいをなくそうキャンペーン、つくし活動（資源回収活動）など 4. その他 ■ 大手企業「ユニクロ」と連携して、服のチカラプロジェクトを実施。（全家庭や地域に呼び掛けて、不要になった衣類を回収し、開発途上国に送る運動。）小学校と、隣接する中学校とで一緒に行い、大変多くの衣類を集めることができた。
49	宇部市地球温暖化対策ネットワーク	4. その他 ■ 昨年度は若い人達が地球温暖化防止を訴える「ショートムービーコンテスト」を実施しました。 ■ 今年度は子どもから家庭の省エネを拡げる「エコレンジャープロジェクト」を実施します。

	団体・法人名	概要等
50	山口市地球温暖化対策地域協議会	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ イベントや環境学習講座（山口市内の学校や放課後児童クラブなどの団体を対象に講師を派遣する事業）を通して子どもたちが環境について学習する機会の提供 ■ 電動機付き自転車の試乗会の実施 ■ 再生可能エネルギーの普及・活用に関する講座の実施。 ■ 山口市内の小学生を対象に、省エネ・節電に取り組むきっかけづくりを目的とした夏休みエコチェックシートの実施 <u>2. 循環型社会の形成</u> ■ 1. に記載したものに加えて、エシカル消費の普及啓発キャンペーンや、エコクッキング教室などの環境学習講座の実施 <u>3. 自然との共生</u> ■ 山口市内の学校や放課後児童クラブなどの団体を対象にネイチャーゲーム体験などの環境学習講座を行い、子どもたちが環境について学習する機会を提供している。 <u>4. その他</u> ■ 令和6年度は、新たに山口市民や会員を対象に、脱炭素まちづくりカレッジや4パーミルイニシアチブの研修会を実施した。 ■ また、市民を対象に、EV&太陽光発電体験会を実施した。 ■ その他、山口市と連携し、COOL CHOICEから移行した「デコ活」の普及啓発等を実施した。
51	萩市快適環境づくり推進協議会	<u>3. 自然との共生</u> ■ 親と子の水辺の教室
54	岩国市地球温暖化対策地域協議会	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ ストップ温暖化診断、省エネ川柳の募集等 <u>2. 循環型社会の形成</u> ■ 地球温暖化防止出前講座やイベント出展、エコ料理教室を通じて、温暖化防止や食品ロス削減、3Rの推進などを周知 ■ エコツアーを開催して先進的な環境問題への取り組みを視察し、市民意識の高揚を図った。 <u>4. その他</u> ■ コロナ禍で中断していたエコ料理教室を、令和6年度から募集形式の行事として再開しました。依頼に応じて開催する出前講座の形式も残しつつ、今後も年1回程度行っていこうと考えています。 ■ 令和7年度は県が管轄している食品衛生協会と共同開催で行う予定です。
57	柳井市地球温暖化対策地域協議会	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ エネルギーの創蓄省に係る工作教室
59	周南市温暖化対策地域協議会	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ キッズ・エコチャレンジ大作戦 ■ 周南市エコすごろく <u>4. その他</u> 【令和6年度の取組】 ■ キッズ・エコチャレンジ大作戦参加賞「レノファ山口バックヤードツアー」

	団体・法人名	概要等
65	平生町快適環境 づくり推進協議会	<u>2. 循環型社会の形成</u> ■ 令和6年度にペットボトルキャップ回収容器を購入し、町内施設8か所に設置。 ■ 令和7年度は未定。
67	(公財) 山口県 ひとづくり財団県民 学習部環境学習推進 センター	<u>3. 自然との共生</u> ■ やまぐち生物多様性応援宣言企業・団体に登録 <u>4. その他</u> ■ (公財) 山口県ひとづくり財団県民学習部では、県民の学習活動と山口県の未来を拓くひとづくりを進めるための各種事業を行っています。 ■ 各事業の詳細及び参加申込については、その都度ホームページでお知らせします。 ■ 令和7年度公益財団法人山口県ひとづくり財団県民学習部事業案内(公開講座) https://hito21.jp/post-3943/
69	山口県気候変動適応 センター	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ HPによる情報収集・情報発信 <u>4. その他</u> ■ 山口県気候変動適応センターでは、県の気候変動影響と適応への関心と理解を深めていただくため、過去の気象情報と将来の予測結果を閲覧できるウェブアプリを公開いたしました。 やまぐち気候変動適応情報プラットフォームで掲載しています。 (https://yplat-ylccac.hub.arcgis.com/) ■ また、「これって気候変動? みんなで調査!」では、気候変動の影響を調べるために、県民の皆様からの情報を募集しています。 (https://experience.arcgis.com/experience/172cbl6a3ff64508b03c8ad4d18f6c9a/) ■ 山口県気候変動適応センターのHPでも情報発信しています。 (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/246/122114.html)
71	下関市環境部環境 政策課(下関市地球 温暖化対策実行計画 推進協議会)	<u>4. その他</u> <u>【令和6年度の取組】</u> ■ 「ゼロたんチャレンジしものせき」シンボルマークの作製 「ゼロカーボンシティしものせき」の実現を目指し、下関市民・下関市内事業者の脱炭素意識の醸成及び行動変容を促進するため、公募によりシンボルマークを作製。延べ226作品の応募の中から1作品を選定し、下関オーガニックビレッジ2024のイベントステージ上で発表。啓発資材への名入れ等で、広く周知を予定。
73	山口市環境部環境 政策課	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ 国民運動「デコ活」普及啓発
74	萩市市民生活部環境 衛生課	<u>3. 自然との共生</u> ■ 親と子の水辺の教室
76	下松市生活環境部 環境推進課	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ 省エネ家電補助金

	団体・法人名	概要等
77	岩国市環境部環境政策課	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ ノー残業デーの実施 ■ 電気自動車の普及促進のためのEV充電設備の設置
78	光市環境市民部環境政策課	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ LED照明及び宅配ボックス導入補助金交付事業(令和6年度、令和7年度) ※一般家庭向け ■ 省エネ性能の高い家電に買い替える費用の補助金交付事業(令和6年度) ※一般家庭向け
80	柳井市市民部市民生活課	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ ノー残業デーの実施 ■ 宅配ボックス設置促進補助金(令和6年度) ■ 柳井クールステーション(暑さをしのぐ一時的な休憩場所) ■ エネルギーの創蓄省に係る工作教室 <u>2. 循環型社会の形成</u> ■ バイオマスプラスチックを配合した指定ごみ袋の導入 ■ フードドライブの実施
82	周南市環境生活部環境政策課	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ 周南市戸建住宅ZEH普及促進補助金 ■ 周南市EV・PHV普及促進補助金 <u>4. その他</u> ■ エコすごろくの貸出 ■ 地球温暖化防止に関する小冊子の作成(令和6年度)
84	周防大島町産業建設環境部生活衛生課	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> ■ R6.9.29「ゼロカーボンフェスタ in 周防大島」開催、「周防大島町ゼロカーボンシティ宣言」表明。 <u>2. 循環型社会の形成</u> ■ R7.7月上旬・中旬 Honda ビーチクリーン活動を逗子ヶ浜海水浴場で実施予定
88	平生町環境政策室	<u>2. 循環型社会の形成</u> ■ パソコン、小型家電等リサイクル ■ 食品トレイ、エコキャップ回収
90	山口県環境生活部環境政策課	<u>1. 脱炭素社会の形成</u> <u>【R7年度の取組予定】</u> ■ 脱炭素に触れる体験型謎解きイベントの実施(蜂ヶ峯総合公園、防府市青少年科学館ソラール、市立しものせき水族館海響館) ■ 小中学生を対象とした脱炭素社会の実現に向けたパブリック・ディベート大会の実施 ■ 高校生を対象とした次世代環境リーダー育成プロジェクトの実施

	団体・法人名	概要等
91	山口県環境生活部 廃棄物・リサイクル 対策課	4. その他 【令和6年度の取組】 ■ 3R普及啓発 県にゆかりのあるお笑いタレントによる食品ロス削減等の啓発メッセージの作成、放送 ラジオCMによる食品ロス削減等の呼びかけ 県内小中学校等を対象として、出前形式による環境学習講座の実施 ■ ワンウェイプラスチック等削減推進事業 「クリーニングマイバッグ」導入地域の拡大と、利用促進に向けたイベントの開催やチラシ、動画等の作成 【令和7年度の取組予定】 ■ ワンウェイプラスチック等削減推進事業 関係団体との連携の下、宿泊施設で使用するアメニティ等のワンウェイプラスチックの削減を促進
96	山口県教育庁高校 教育課	4. その他 ■ 「やまぐちエコリーダースクール」認証制度を実施

長府扇町安全協議会 会員各位

2024年5月吉日

長府扇町安全協議会
クールファンプロジェクト

クールファンプロジェクト活動ご協力のお願い

拝啓、向暑の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年に引き続き、今年度もクールファンプロジェクト活動を実施いたします。
つきましては、本活動の主旨にご理解、ご賛同を頂き会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

◆◆「ぶちエコやまぐち」を宣言する事業所を募集しています！◆◆

山口県では、「ぶちエコやまぐち」を合言葉に、2050ゼロカーボン・チャレンジ～ぶちエコやまぐち県民運動～の実施を呼びかけており、「ぶちエコやまぐち」を宣言する事業所を募集しています。
現在、1,000を超える事業所が省エネ活動を宣言・実践しています。
募集対象・応募方法などの詳細は、山口県のHPよりご確認ください。



詳しくは⇒ <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/buchieco/20520.html>

◆◆活動内容◆◆

①ライトダウンの呼びかけ・実施（前期：6/21～7/7、後期：12/1～12/31）
事業所や家庭等において可能な範囲で照明を消灯し、CO2を削減

②エコスタイル・エコドライブの呼びかけ
クールビズの実施（5/1～10/31）、エコドライブの呼びかけ

③環境美化活動の推進（扇町団地内の美化活動）
毎月の環境デー・一斉清掃の継続と活性化

以上

公益財団法人山口放送みらい財団からのお知らせ

（2024 年 6 月）

令和 6 年度 緑花活動優良団体表彰事業

1. 目的

公益財団法人山口放送みらい財団（以下「当財団」という。）が、環境美化活動を推進する団体を表彰することにより、快適な生活環境づくりと豊かな人間形成に寄与することを目的とする。

2. 表彰の対象

緑花活動を行っている団体で、所在する市町の環境衛生組織の推薦を得たものを対象とする。

3. 表彰の審査基準及び申請方法

表彰団体の選考に当たっては、次の基準により、審査を行うものとする。

- (1) 一定期間（3 年以上）にわたり積極的な活動を行っており、その成果が著しい団体
- (2) 毎年定期かつ不断の活動を行っている団体
- (3) 将来も活動を継続する意志を有すると思われる団体
- (4) 社会奉仕の精神に基づいた活動を行っている団体
- (5) その他表彰に値する功績のあった団体

（表彰の申請方法）

優良団体の表彰を受けようとする団体は、緑花活動優良団体申請書に、市町の環境衛生組織の推薦書を添付して、当財団に提出するものとする。

令和 6 年度 河川愛護優良団体表彰事業

1. 目的

当財団が、環境美化活動を推進する団体を表彰することにより、快適な生活環境づくりと豊かな人間形成に寄与することを目的とする。

2. 表彰の対象

河川愛護活動を行っている団体で、所在する市町の環境衛生組織の推薦を得たものを対象とする。

※ 表彰の審査基準及び申請方法は緑花活動優良団体表彰事業に準じる。

令和 6 年度 緑花活動モデル地区団体指定事業

1. 目的

当財団が、環境美化活動を推進する団体を指定し助成することにより、快適な生活環境づくりと豊かな人間形成に寄与することを目的とする。

2. 対象及び要件

緑花活動を行っている団体で、次の要件を具備するものを助成対象とする。

- (1) 組織が確立し、専門的な指導者を有すること。
- (2) 行政機関と緊密な連絡を有すること。
- (3) 事業活動に永続性が保証されること。
- (4) 地区内に適切な植栽地を有すること。
- (5) 組織が自主団体であること。

3. 指定期間及び助成額

モデル地区団体の指定期間は 3 年間とし、活動事業費として毎年 10 万円の助成を行う。

4. 指定の申請方法

モデル地区団体の指定を受けようとする団体は、緑花活動モデル地区団体指定申請書に、市町の環境衛生組織の推薦書を添付して、当財団に提出するものとする。

令和6年度 河川愛護モデル地区団体指定事業

1. 目的

当財団が、環境美化活動を推進する団体を指定し助成することにより、快適な生活環境づくりと豊かな人間形成に寄与することを目的とする。

2. 対象及び要件

河川愛護活動を行っている団体で、次の要件を具備するものを助成対象とする。

- (1) 組織が確立し、専門的な指導者を有すること。
- (2) 行政機関と緊密な連絡を有すること。
- (3) 事業活動に永続性が保証されること。
- (4) 組織が自主団体であること。

※指定期間、助成額及び申請方法は緑花活動モデル地区団体指定事業に準じる。

【公募時期及び申請書提出期限】

公募時期：毎年6月～9月間

提出期限：9月30日必着

【申請書の提出先及び問い合わせ先】

公益財団法人山口放送みらい財団

〒745-0851 周南市大字徳山5853番地の2

山口放送株式会社内 TEL：0834-32-1111

【その他】

詳細は、(公財)公益法人協会「共同サイト」に掲載

<令和5年度各表彰・指定事業状況>

・河川愛護優良団体表彰

宇部市「宇部市環境衛生連合会 船木支部」

・河川愛護モデル地区団体指定

下松市「平田川を愛する会」

萩市「鮎のつかみどり実行委員会」

※緑花活動優良団体、緑花活動モデル地区団体は該当なし。

令和6年度 快適な環境づくり山口県大会開催（共催）

1. 開催目的

快適で明るい社会づくりを目指し、各地域で環境保全・環境衛生に関する自主的な活動を実践している関係者や行政機関の担当者が一堂に会し、講演会や快適な環境づくり等に顕著な功績のあった者の表彰を行うとともに、相互に情報交換・交流し、環境づくりに関する県民活動の中核イベントとして、実践活動の一層の向上を図る。

2. 開催期日及び会場

令和6年11月中旬頃 美祿市 「秋吉台国際芸術村」 予定

3. 対象

市町環境衛生組織、関係ボランティア、県・市町行政担当者、環境保全・環境衛生・公衆衛生関係者、一般県民等

令和6年度 快適な環境づくり研修会開催（共催）

1. 開催目的

県内各地域で快適な環境づくりに活躍しているボランティアやその関係者が一堂に会し、環境保全・環境美化、地域温暖化対策への取組、生活環境の改善、県民の健康の増進等緊要で重要な課題について研修し、また、相互に体験発表や情報交換を行って、これからの実践活動の推進とそのネットワークの強化を図るとともに、環境づくりの新しいリーダー養成を行う。

2. 開催期日及び会場

令和7年1月下旬予定 萩市 「場所未定」

3. 対象

市町環境衛生組織、関係ボランティア、県・市町行政担当者、一般県民等

【大会・研修会の問い合わせ先】

公益財団法人山口放送みらい財団

〒745-0851 周南市大字徳山 5853 番地の2

山口放送株式会社内 TEL：0834-32-1111

公益社団法人山口県快適環境づくり連合会

〒753-8501 山口市滝町1番1号

山口県環境生活部衛生課内 TEL：083-920-6232

【その他】

詳細は、（公財）公益法人協会「共同サイト」に掲載

地球防衛戦隊

みんなが安心して暮らせる未来のために
炭酸ガスの発生を減らして地球の温暖化を防ごう!!

エコレンジャー

隊員 100 人募集!!

対象

宇部市内小学生

募集
締切

2025年

6月30日まで

おうちの電気代、ガス代、
水道代を減らして
おうちも守ろう!

地球防衛戦隊 エコレンジャーとは...

おうちの電気、ガス、水などの無駄づかいを減らし、
地球の温暖化を防ぐ大切な役目

1 おうちの無駄づかいの見張り役

「省エネチェックシート」でおうちの電気、
ガスなどの使い方をチェック

無駄づかいが2回以上あったら
イエローカードで家族に注意を呼びかけ

無駄づかいを減らす方法を見つけて
家族で実行

2 おうちの無駄づかいが 少なくなったか数字で見よう

電気の検針票を去年とくらべてみよう
3ヵ月間(7月～9月)の電気の検針票を
UNCCAに出してね!
他の隊員のおうちとくらべると面白いね



隊員任務完了で
QUOカードを
(1,000円分)
プレゼント!

成績優秀者には
すてきな
「優秀者賞」
もあるよ!

■お問い合わせ

宇部市地球温暖化対策ネットワーク (UNCCA)

〒755-0045 宇部市中央町二丁目 11-21

TEL・FAX: 0836-38-8183 E-mail: unccahome@gmail.com

主催/宇部市地球温暖化対策ネットワーク (UNCCA)

後援/宇部市、宇部市教育委員会、朝日新聞社、朝日エフエムきらら

LINEでもだち登録をして
申し込みもできるよ!
必要事項を入れて送ってね。



一般財団法人
セブン-イレブン記念財団



この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて実施しています



ひとりひとりができること

ゼロカーボン アクション30

ゼロカーボンアクションとは

■できることから始めよう、暮らしを脱炭素化するアクション！

各地で異常気象が発生する中、気候変動という地球規模の課題の解決に向けて、日本は、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」（2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること）を目指しています。



「エネルギーを節約・転換しよう！」
「太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう！」
「CO₂の少ない交通手段を選ぼう！」など

できるところから考えてみましょう。



「協賛企業」



新光産業株式会社



セントラル硝子



システムサービス
株式会社



Transform
Tomorrow
Today

地球防衛戦隊 エコレンジャー

申し込み用紙

FAX 0836-38-8183

ふりがな お名前		学校名	学年
ふりがな 保護者氏名		住所 〒	
同居家族人数（隊員含む）	連絡先電話番号 （ご自宅）	連絡先電話番号 （携帯）	
人	連絡先 E-mail	※最も連絡が取りやすい連絡先に○を付けてください。	
隊員が希望するニックネーム 例) エコレンジャー たろう エコレンジャー ハナ エコレンジャー（ ）			



キッズ・エコチャレンジ大作戦！ 参加者大募集！！



◆ 対象 ◆

周南市内の小学生（4年生から6年生まで）

◆ 期間 ◆

夏休み期間中

◆ 内容 ◆

- (1) 地球温暖化について学ぶ
- (2) 「～作戦1～小さなことから始めてみよう！」をやってみる
- (3) 「～作戦2～これからの生活について考えてみよう！」をやってみる
- (4) 取り組んだ結果などを大作戦シートに書く
- (5) 完成した大作戦シートを提出する

◆ 応募方法 ◆

完成した大作戦シートを学校に提出する

※ 大作戦シートは、学校で配られたものか、周南市役所環境政策課ホームページを確認してね

◆ 締め切り ◆

令和6年9月17日(火)

◆ 審査方法 ◆

周南市温暖化対策地域協議会で審査し、入賞者には環境政策課からお知らせします。

◆ その他 ◆

提出した大作戦シートの著作権は、周南市温暖化対策協議会のものになり、作品の内容をホームページ等に掲載することがあります。



参加したみんなにプレゼントがあるよ！

さらに…！参加した人の中から抽選で

レノファ山口FCのバックヤードツアーにご招待！

～ レノファ山口FCとのコラボ企画 ～

8月ホームゲーム限定「スペシャル大作戦！」にも挑戦してみよう。
クリアできた人は、レノファ山口FCのバックヤードツアーに当選しやすくなるよ！

◆ 問い合わせ先 ◆

周南市役所環境政策課内
周南市温暖化対策地域協議会事務局
〒745-8655 周南市岐山通1-1
電話：0834-22-8324
FAX：0834-22-8325
Eメール：kankyo@city.shunan.lg.jp
ホームページ：<https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/18/>



キッズ・エコチャレンジ大作戦
参加賞「レノファ山口 FC バックヤードツアー」

バックヤードツアーの実施について

周南市と株式会社レノファ山口は、相互に連携・協力することにより、環境の保全、創造および再生に向けた活動を推進することを目的として連携協定を結んでいます。

今回、キッズ・エコチャレンジ大作戦を頑張ったみなさんに、参加賞としてレノファ山口 FC バックヤードツアーにご招待します！



【日程】

○実施日：令和 6 年 11 月 10 日（日）

○集合場所：維新みらいふスタジアム（山口県山口市維新公園 4 丁目 1-1）

バックヤードツアーについて	
11:00	① 1F 正面玄関モニュメント付近集合 ※別紙「マップ」参照
11:10	② 4F 指令室 ※ 実況者が使用している部屋で、試合状況に関する資料があります！
11:15	③ 4F VIP室（特別会議室3）
11:25	④ 1F 審判控え室 ※試合球が置かれていて、触ることができます！
11:30	⑤ 1F ウォーミングアップ室
11:35	⑥ 1F ロッカールーム
11:40	⑦ ピッチサイド・ベンチ ★スタジアムをバックに記念撮影★
12:00 頃	⑧ 選手バスをお出迎え
12:10～13:10	⑨ 休憩
13:10	⑩ 再度集合し、移動
13:15～13:30	⑪ ウォーミングアップ見学
13:30	⑫ 座席に移動
14:00	試合開始 ※試合終了後の集合はありません（各自解散となります）。

【●加について】

- スニーカー等、動きやすい靴でお越しください。 ※ ヒールでの来場はお控えください。
- 服装は問いませんが、アウェイチームのグッズを身に付けての参加はご遠慮ください。
- 当日、発熱や体調不良等の症状が見られる方は来場をお控えください。
- 写真撮影は、スタッフの指示に従ってお願いします。

【主催】

周南市温暖化対策地域協議会（事務局：周南市環境生活部環境政策課）

【協賛】

株式会社レノファ山口

RENOFA
YAMAGUCHI FC



令和7年度

公益財団法人 山口県ひとづくり財団 県民学習部事業案内



環境学習講座



夢トークinやまぐち講演会



やまぐちキッズスクール



スポーツクライミング体験教室



環境学習指導者養成セミナー

- ① 全ての講座等は原則、参加費無料です。
- ② 各種講座等の詳細は、開催の都度、市町役場や公民館などにチラシを配置するとともに、ホームページ等でお知らせします。
- ③ 参加を希望される方は、チラシやホームページをご覧いただき、各種事業等の申込方法に沿って申し込んでください。

山口県ひとづくり財団
ホームページはこちらから▶
<https://hito21.jp/>



県民学習部 事業一覧 公開講座

セミナーパークの施設目的である県民の「学習活動の促進」と「交流の促進」を図るために、「生涯学習推進センター」及び「環境学習推進センター」からなる県民学習部を設置しています。

学習活動については、「若者の育成」、「地域リーダーの育成」、「新たな学びの提供」の3つの視点から、交流については、「セミナーパークの活用」と「全県的なネットワーク構築」の2つの視点から、「山口県の未来を拓く人づくり」を進めるための各種事業を実施しています。

1. 県民の学習活動の促進

●若者の育成

新たな時代を担いリードする若者の育成事業を実施します

講座名	講 師	内 容	対象者	開催日
やまぐち未来アカデミア事業				
やまぐちキッズスクール	全3回、多彩な体験活動プログラムを実施します。 子どもの好奇心や創造力を高めるきっかけにするとともに、感じたことや考えの表現・共有を通して、他者について理解し、互いを尊重し合う気持ちを育みます。	4才～小学校3年生及び その保護者20組	全3回 第1回 5月17日(土) 第2回 7月 5日(土) 第3回 8月30日(土)	
やまぐちキッズスクール ミニ	(一社)セミナーパーク協会の 職業教室	幼児～小学生及び その家族25組	10月下旬(予定)	
やまぐち まちづくりセミナー	(株)リージョナルマネジメント CEO 北尾 洋二 氏	中学生が様々なまちづくりの取組を知ることを通じて、まちづくりに対する興味・関心を高め、身近な課題に向き合う視点や自分のまちへの愛着を育みます。	中学生 7月13日(日)	
やまぐち「志」キャンプ	体験プログラムや仲間との活動・交流を通して、志と行動力の種となるチャレンジ精神やコミュニケーション能力、課題解決力の育成をめざしています。 ①前期 人間関係づくり・森のチャレンジコース挑戦 他 講師 AFPアドバイザー 早井 一 氏 他 ②後期 ニュース番組づくりに挑戦 講師 山口ケーブルビジョンまちかどNEWS 佐藤 忠典 氏 他	小学校4年生～6年生 中学校1年生～2年生	前期 8月6日(水)～7日(木) 1日2日 後期 12月6日(土)	
やまぐち若者 MY PROJECT	(一社)motibase 認定NPO法人 カタリバ	身近な課題の解決に向けたプロセスを拓く力や失敗を恐れずに挑戦し続ける力、立場や意見の違いを超えて互いにより良い解決策を求めて話し合うコミュニケーション能力の育成を目指します。	高校生及びそれに準ずる年齢の方	8月～令和8年2月で複数回
ワークショップコレクション inやまぐち2025(仮称)	県内の企業や団体、個人、 教育機関等	クラフト工作や実験、プログラミングなど様々なワークショップ体験を通して創造力、表現力を育みます。	幼児～小学生及びその 保護者	11月中旬(予定)
やまぐちっ子「環境レポート」	子どもたちが家族や学校、地域の方たちとともに環境やSDGsについて考え、調べ、行動した内容を絵日記や新聞形式にまとめた作品を募集します。 ○応募対象 山口県内の小学生 ○応募締切 9月22日(月) ○賞・選考 絵日記の部、レポート(新聞形式)の部に分けて選考 (入賞作品には賞状と謝金として図書カード、応募者全員に参加賞あり) ○応募方法 (1) 学校又は団体での応募 別紙「応募用紙」に必要事項を記入し、作品と一緒に、山口県ひとりづくり財団県民学習部に送付 (2) 個人での応募 テラシ裏面の「応募票」に必要事項を記入し、作品と一緒に、山口県ひとりづくり財団県民学習部に送付			
遊びで地力創造力育成事業	自然や公園設備等の地域資源を活用した新たな遊びを考えるプログラムを通じて、子どもたちの自由な発想や好奇心を高め、新たな価値を創造する力を育成します。	小学生～中学生	年3回	
明日にきらめけ！ 絶新アカデミア事業	県内の専門的分野で活躍している大人との対話を通じて、ふるさと山口への誇りと愛着を高めるとともに、子どもたちの目指す目標に向けて志を高め、自らのキャリアを構築する力を育成します。	小学校3年生～中学生	年5回	

●地域リーダーの育成

ひとづくり・地域づくりフォーラムや各種リーダー養成セミナーを開催し、地域活動の活性化につながる事業を実施します

講座名	講師	内 容	対象者	開催日
生涯学習ボランティア 養成セミナー	NPO法人 市民プロデュース 理事長 平田 隆之 氏	講座「ボランティアをやってみよう！」 ・ボランティアの始め方・探し方 演習「ボランティアの意義を考える」	ボランティア活動に興味がある人 50人程度	11月22日(土)
地域コーディネーター 養成セミナー	宇部フロンティア大学短期大学部 教授 伊藤 一統 氏 他	第1回 実践事例から学ぶ「ファシリテート入門」 第2回 コーディネーターICT活用法 第3回 コーディネーターの実務と運営	地域づくりをしたい人、 地域課題に取り組みたい人、各種コーディネーター(防災・環境・福祉・学校等)、社会教育主事、公民館主事、学校地域連携担当職員、CSアドバイザー等 30人程度	第1回 6月 7日(土) 第2回 9月 6日(土) 第3回 10月18日(土)
第20回ひとづくり・地域づくり フォーラムin山口		「出会い・交流・学びから広がるひとづくり・地域づくり」をテーマに、地域課題の解決を担う人材の育成と地域での実践活動につながるフォーラムを開催します。		令和8年 2月14日(土)

講座名	講 師	内 容	対象者	開催日
環境学習講座	全3回、ごみ問題や気候変動、自然保護等についての講座を実施します。 第1回 県内でのごみ拾い活動のお話を通して、ごみの現状や課題を学び、実際にごみ拾いをします。 講師 山口県YouTuber＆ローカルタレント メガネ山口 氏 第2回 近年、目撃情報が増えてきた「ツキノワグマ」の生態について学びます。 講師 山口県立山口博物館 学芸員 大森 龍雄 氏、山口県自然保護課 第3回 気候変動が身近な樹木等に与える影響について、樹木芝の解説を聞きながら萩市笠山を散策します。 講師 山口県樹木学会 草野 隆司 氏、中村 裕三 氏 山口県気象観測センター	県内にお住まいの方 ①～③各30人程度	第1回 5月24日(土) 第2回 7月26日(土) 第3回 11月 1日(土)	
環境学習指導者養成セミナー	第1回 水生生物による水質判定講座 講師 人間環境大学総合環境学部フィールド自然科学科講師 後藤 益志 氏 第2回 環境学習用マイクロプラスチック調査指導者養成講座 講師 山口県環境保健センター専門研究員 下塚 和歌子 氏	県内の教員、環境活動団体員、環境学習指導者、県・市町職員、その他環境活動に興味があり知識を得たい方 ①②各20人程度	第1回 5月15日(木) 第2回 5月20日(火)	
希少野生動植物種保護対策推進事業				
希少野生動植物種保護支援員研修会	未定	希少野生動植物に関する基礎知識と実践的な活動方法の習得により、希少野生動植物種保護支援員の資質向上を図ることを目的に実施します。	山口県に登録している希少野生動植物種保護支援員	未定
情報誌「支援員だより」の発行	希少野生動植物種の保護と生物多様性の普及啓発を進め、生物の多様性が確保された良好な自然環境を保全するための専門的な情報を、希少野生動植物種保護支援員の旅に提供します。			
教育コア・プロジェクト事業	複雑化・多様化する教育課題に学校、家庭、地域が連携・協働して対応するため、教育活動の推進に向けて中核となる人材を育成することで、山口県教育の一層のレベルアップを図ることを目的に、やまぐち総合教育支援センターの研修講座等の一部を、開放講座として教員、保護者、県民が共に学びます。 ○詳しくは、やまぐち総合教育支援センターウェブサイトの「申込関係」にある「開放講座」のページをご覧ください。 https://www.center.gysn21.jp/			

●新たな学びの提供

幅広い県民ニーズを踏まえ、新たな学びや実践につながる事業を実施します

講座名	講 師	内 容	対象者	開催日
夢トークinやまぐち講演会	講演会(3回) ○講師・内容 未定		一般県民 各回300人程度	7月～10月に3回開催
山口ひとものがたりセミナー	第1回 「萩博物館の秘宝に見る「長州ファイブ」の活躍—日本近代化の立役者たち—」 講師 萩博物館総括学芸員 道瀬 典基 氏 第2回 「萩ジョパークで結ぶ萩城下町誕生の秘宝—萩の大地と人のつながり—」 講師 萩ジョパーク推進協議会・専門員 白井 孝明 氏 第3回 「開港館を訪れた平安貴族たち—清少納言の感性を惹いた国府をとりまく環境—」 講師 萩市文化振興課文化財課長 羽島 幸一 氏	一般県民 各回60人程度	第1回 9月27日(土) 第2回 10月 4日(土) 第3回 10月18日(土)	
環境学習指導者バンク登録・派遣事業	学校や各種団体等が開催する環境学習の講演会・研修会や体験学習会などに、「山口県環境学習指導者バンク」に登録した講師・指導者を派遣します。(講師・指導者の謝金、旅費は財団が負担します。)			適年
新たな時代への人づくり ウェルビーイング向上事業	ウェルビーイングの観点に着目した「人づくり」を様々な学びの現場に広げるため、子ども・若者向けのワークショップや、教育・保育関係者向けのファシリテーターワークショップを通じて、子どもや若者たちの主体性や自己肯定感、他者と協働する力などの育成・向上を図ります。 ○詳しくは、やまぐちウェルビーイングウェブサイトにある「お知らせ・イベント」のページをご覧ください。 https://hito21.jp/well-being/			

2. 県民の交流の促進

●セミナーパークの活用

施設の特徴を活かした事業を実施します

講座名	講 師	内 容	対象者	開催日
スポーツクライミング体験教室	ボルダリングの部、トップロープクライミングの部それぞれのウォールでのスポーツクライミング体験教室 ○講 師 山口県山岳・スポーツクライミング連盟 ○対 象 小学3年生～中学生20人(各回・各都) ※集合・申込は、山口県山岳・スポーツクライミング連盟にお問い合わせ。 山口県山岳・スポーツクライミング連盟ホームページ https://yamaguchi-gakuren.jp			全4回 7月26日(土)・8月 3日(日) 8月17日(日)・8月23日(土)
セミナーパーク体験学習事業	山口県セミナーパークの施設や人材を活用し、学校における教育活動を支援する体験学習です。 ○対 象 県内の小学校及び特別支援学校<小学部> (但し、藤原や中山間地域校の申込を優先して採択することとします。) ○参加人数 学校又は学習単位での申込とし、10～40人程度 ○活用できる施設や学習内容等は、(公財)山口県ひとづくり財団ホームページをご覧ください。			

●全県的なネットワークの構築

講座の情報や事業報告を発信するとともに、共催事業の実施や交流会・推進協議会の開催等により、関係団体間の交流を進めます

講座名	内 容	開催日
環境活動団体等交流会	環境活動団体等との交流を通じて、活動状況等の情報を共有し、環境学習推進の提供や体験できる場の充実・拡大等を促進します。 ○対 象 環境活動団体、環境学習指導者、環境学習関連施設、行政機関(県・市町) 等	令和8年1月
環境学習全県ネットワーク構築	様々な環境活動情報や環境学習教材の貸出等を通じて、全県的な環境学習を推進するとともに、活動主体同士のネットワークづくりを促進します。 ○内 容 情報誌「ecoサポート」の発行(年2回)、WEBページ「環境学習のひろば」の運用、環境学習教材の整備 等	適年

「ゼロたんチャレンジしものせき」シンボルマーク

「ゼロカーボンシティしものせき」の実現を目指して、
二酸化炭素の排出量0（ゼロ）にチャレンジするシンボルマークを作りました！



作品コンセプト（作者コメント）

「CO2」「0」「しものせき」をキーワードに「ゼロカーボンシティ」をそのままに表した分かりやすいマークになります。全体的に丸いフォルムにすることで柔らかさを出しつつ親しみやすくシンプルなデザインです。グラデーションにすることでCO2の排出量と吸収量の均衡を保つという意味があります。くじらがシティを背負っているのは、自然や環境が豊かであってこそ、街がしっかりと成り立つことを表現しています。

シンボルマーク発表会の様子



（左：下関市長 右：シンボルマーク作者（外田さん））

作製した啓発資材



下関市 環境部 環境政策課

周南市エコすごろくの貸出しについて

周南市環境政策課では、【周南市エコすごろく】の貸出しを行っております。

～対象～

- ・周南市内の団体やグループが、市内で使用すること。
- ・使用目的が環境問題、地球温暖化対策の啓発であること。



～内容～

周南市エコすごろく一式（外箱サイズ：約10cm×約10cm×約65cm 重さ：約1.7kg）

外箱	1個
エコすごろく（ボード）	1枚
遊び方説明書	1冊
コマ（ペットボトルのキャップ）	6個
サイコロ	2個
おはじき	2色
紙コップ（おはじき用）	2個
紙コップ（プレイヤー用）	6個



～申請方法について～

- ① 借用申請書をご提出ください。（申請書の提出により、正式な申込みになります。）
- ② 申請が重なった場合は、申請書受付の先着順となります。
- ③ すごろくの貸出し、返却の際には環境政策課までご来庁ください。

～注意事項～

- ・借用期間は、原則として2週間以内でお願いいたします。
- ・使用目的など申込の内容によってはお断りする場合がございますので、ご了承ください。
- ・返却時には貸出し時と同じ状態での返却をお願いいたします。なお、本体・用具等につき汚破損、紛失などされた場合、修理または同等の物により弁償していただく場合がございます。

～使用上の注意～

- ・コマとして使用するペットボトルキャップや、おはじきの誤飲等にご注意ください。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、手洗い、マスクの着用、用具の除菌等にご配慮ください。



周南市 環境政策課

〒745-8655

山口県周南市岐山通 1-1 市役所本庁舎 2F

TEL : 0834-22-8324 FAX:0834-22-8325

E-mail : kankyo@city.shunan.lg.jp



目次

● 知っておきたい！地球温暖化

地球温暖化って何？	1
地球温暖化でどんな影響が…	3
地球温暖化問題の解決に向けて	5

● やってみよう！地球温暖化対策

暮らしの中でできること	10
事業活動でできること	18

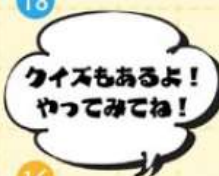
● 周南市内の取組を紹介するよ！

市役所の取組	16
事業者の取組	19

● 脱炭素社会の未来に向かって

レノ丸と一緒にキックオフ！

22





地球温暖化ってなに？

地球温暖化の仕組みと原因

地球の気温が上昇する現象のことです。
周南市も約 50 年間で気温が約 2℃上昇しています。



①太陽からのエネルギーで地上が温まる

②地上から放射される熱を温室効果ガス[※]が吸収・再放射して大気が温まる



③温室効果ガスの濃度が上がると



④温室効果ガスの影響②がこれまでより強くなり、地上の温度が更に上昇する

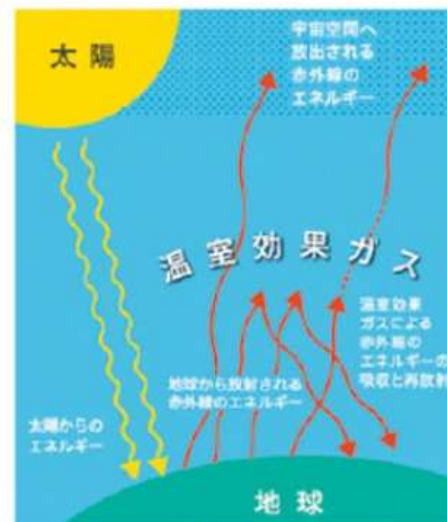
⑤これが地球温暖化



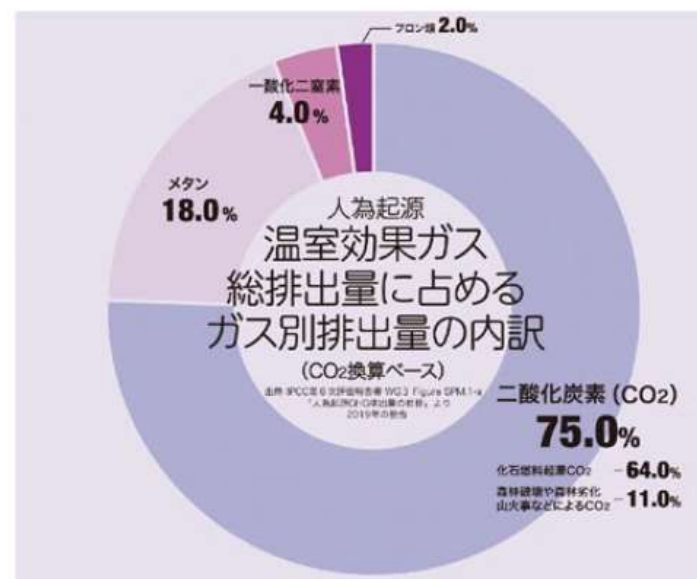
※温室効果ガス

地球温暖化の原因となっているガスには様々なものがあり、主な温室効果ガスの種類として、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロンなどがあります。なかでも二酸化炭素はもっとも温暖化への影響度が大きいガスです。産業革命以降、私たちがエネルギーを得るために、大量に化石燃料を燃やしてきたこと、二酸化炭素を吸収する森林を伐採してきたことなどが原因で、その結果、大気中の二酸化炭素の濃度も増加しています。

大気中に温室効果ガスがない場合、地表気温はおよそマイナス19℃になりますが、温室効果ガスの存在によって地表気温はおよそ15℃になっています。



出典：環境省



出典：JNCC 全国地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化でどんな影響が…

地球温暖化の影響はすでにさまざまなかたちで現れはじめています



世界では



日本では



ここから、ここから

周南市では

気温の上昇や大雨頻度の増加、それに伴う農作物の品質低下や熱中症リスクの増大など、地球温暖化による影響が、本市においても懸念されます。



猛暑日の増加

- 猛暑日は市内平均で年間21日増加の予測です。
(特に沿岸部や東部山間地域で増加幅が大きい)
- ※ 厳しい地球温暖化対策を実施しない場合の2000年頃と2100年頃の比較予測
- 熱中症搬送人数は15年前と比べて約5.5倍に増えています。

CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION



大雨頻度の増加

山口県の短時間強雨[※]の年間発生回数は1970年代の平均回数と比べて、2010年代の平均回数は約2.6倍に増加しています。
一方、台風の発生数は変わっていません。
※ 傘が全く役に立たなくなるような非常に激しい雨

CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION



農作物の品質低下

水稲は高温により、内部が白濁する米の白未熟粒の発生などの品質低下などが確認され、将来的にも農作物の品質低下などのリスクが高くなるとの予測がされています。

※ 2000年には全生産量リスク低だったものが2100年には半数以上が品質低下リスク高との予測。

(※ 調査は「シシトリー」(2000年)と「シシトリー」(2100年)の比較。上段の品質が「シシトリー」、下段が「シシトリー」の予測。左列は水田で栽培したもの、右列は水田をビニールで覆い、より高温下で栽培したものです。右列には、デンプンが米の中にしっかり入らなかったことにより粒が白くなる「白未熟粒」という高温障害が現れています。資料) 山口県農業振興センター

CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION

地球温暖化問題の解決に向けて

世界の動向

温室効果ガスの排出削減に向けては、一国が取り組むだけでなく、世界各国で取り組まなければ実現することはできません。

全ての国が削減目標・行動をもって気候変動問題に取り組んでいます。

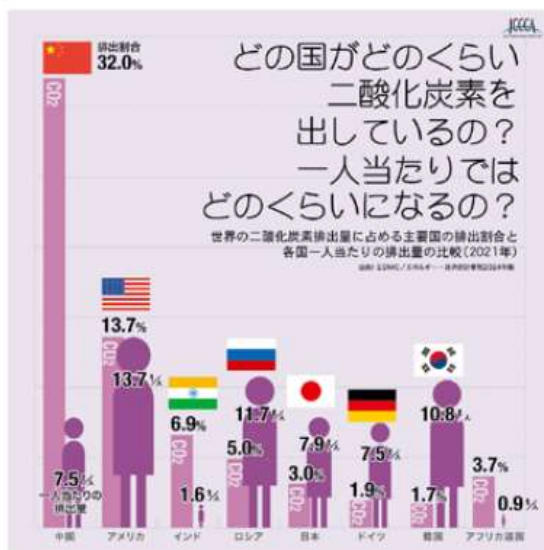
気候変動枠組条約 京都議定書

気候変動枠組条約は、1992年5月に国連総会で採択されました。

その後、気候変動枠組条約の目的である温室効果ガスの濃度を安定化させるため、1997年12月に京都で開催された、第3回締約国会議(COP3)において先進国の温室効果ガス排出量について法的拘束力のある「京都議定書」が採択されました。

パリ協定

2015年12月フランス・パリで開催された「国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)」では、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」を含むCOP決定が採択されました。パリ協定は「京都議定書」の後継となるもので、2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みです。



出典：JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター

温室効果ガス 2050年 実質ゼロ



日本の動向

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

これは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。

周南市では

周南市では、地球温暖化問題の解決に向けて次の取り組みを行っています。

- 地球温暖化防止対策事業を推進する目的で、周南市温暖化対策地域協議会を組織し、協議会の中に環境学習推進部会と環境活動推進部会の2つの部会を設置しています。
- 国における「2050年カーボンニュートラル」宣言などの脱炭素社会の実現に向けた動きを受け、脱炭素の取組を全市的に推進していくこととしており、その具体的行動指針として「周南市脱炭素社会形成取組指針」を策定しています。

「市(行政)」、「市民」及び「事業者」の三者の取組における基本的な考え方や役割を示しています。

市(行政)	● 市(行政)が自ら率先して行動 ● 各主体間の連携が円滑に進むように、国や県とも連携して支援 ● 各主体の取組が具体化するように、情報提供と活動支援
市民	● 住居、食事、移動等のライフスタイルの変革による行動変容 ● 脱炭素社会に向けた関心と理解 ● 市民ネットワークによる地域ぐるみの環境保全活動
事業者	● 事業内容や事業形態に応じた省エネの実践 ● 脱炭素に資するエネルギーの利活用 ● 脱炭素に資する新技術の研究開発・導入及び製品・サービスの提供

地球温暖化対策には緩和策

と適応策があります。

緩和とは？

原因を少なく

2つの 気候変動対策

適応とは？

影響に備える

緩和策の例



気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

適応策の例



緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

出典：気候変動適応情報プラットフォーム



地球温暖化クイズ



質問①

二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスがまったく存在しない場合、地球の平均気温は？

選択

① 9℃ ② 0℃ ③ マイナス19℃



質問②

厳しい地球温暖化対策を実施しない場合、猛暑日は市内平均で年間何日増加する見込み？

選択

① 21日 ② 100日 ③ 増加しない

【回答①】 ③ マイナス19℃

二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスがまったく存在しないと、まるで冷凍庫の中のような地球になってしまいます。大気中にはたった0.04% (400ppm)しか存在しないCO₂ですが、この微量の温室効果ガスが多数の生物が存在する奇跡の惑星、地球をつくっているのです。

出典：JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター



【回答②】 ① 21日

厳しい地球温暖化対策を実施しない場合、2000年頃と2100年頃を比較すると猛暑日は市内平均で21日増える見込みです。

厚生労働省によると日本における2022年の熱中症による死者数は1,477人。地球温暖化対策と熱中症対策、バランスよく行いたいですね。

やってみよう！地球温暖化対策 一人でもできる取組の一例を紹介します。

暖房時

暮らしの中でできること

- 窓を複層ガラスにする
- 部屋の断熱性を高めるため、カーテンは厚め・長めにする

20℃

加湿器はこまめにオン・オフをする

使わない時は電源プラグを抜く

電気こたつ・カーベットの低めに温度設定し、こまめにオン・オフをする

サーキュレーターで室内の空気を循環させる

電気カーベットは使う人の部分だけオンにする

どの暖房器具が省エネなの？

暖房器具1時間あたりのCO₂排出量・光熱費の比較

※単位：家庭用1人あたり1時間あたり
※前提条件：室温 20℃、湿度 50%、気圧 1013hPa、気流速度 0.1m/s、気体成分 21%
※電気料金：1kWh 22円、ガス料金：1kWh 15円、灯油料金：1kg 150円、LPガス料金：1kg 100円

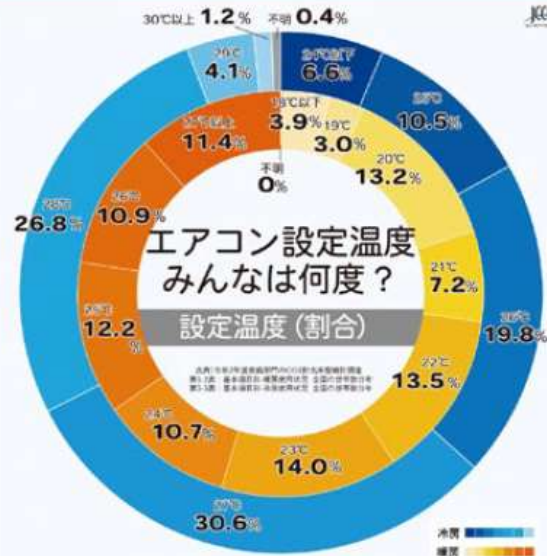


出典：JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター

部屋全体を温めるならエアコンが、部分的に温めるならこたつが、省エネで効率的だね。



暖房器具は、適材適所で選んで賢く使いこなしましょう！



出典：家庭部門のCO₂排出実態統計調査(環境省)
JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター



暖房は20℃、冷房は28℃に設定することを地球温暖化対策の目標にしているけど、グラフで見ると少数派。服装などで調整してみよう。



他にもいろいろ、一人でもできることがあります。右の図はそれをまとめたものです。



家庭でできる省エネは？ー省エネ行動と省エネ効果ー

「省エネポータルサイト」 資料でできる限り (調査元: 環境省)
https://www.enecho.go.jp/energy-saving_and_renewable/index.html をもとに作成 (2022年6月時点)

機器	項目	省エネ効果(月)	光熱費節約(円)
エアコン	設定温度を適切に 冷房温度: 27℃以下、暖房温度: 20℃以上、28℃以下に設定 (使用時間: 1時間/日)	約2.52kWh	約68円
	フィルターをきれいに フィルターが設置されているエアコンは、2週間程度でフィルターを清掃した場合の比較	約2.66kWh	約72円
冷蔵庫	設定温度を適切に 設定温度: 冷蔵室: 4℃以下、冷凍室: -18℃以下に設定 (開閉回数: 10回/日)	約5.14kWh	約139円
	入れる量を控えめに 冷蔵庫にものを詰め込みすぎると、中が冷えにくくなるため、半分にした場合との比較	約3.65kWh	約98円
テレビ	明るさを控えめに テレビの明るさを最低レベルに設定した場合との比較	約2.26kWh	約61円
電気ポット	保温時間を適切に 電気ポットに沸騰させたお湯を、そのまま保温させ、1日中使用し、その後冷たいお湯を捨て、新しいお湯を沸かす場合との比較	約8.95kWh	約242円
洗濯機、洗濯乾燥機	洗濯はまとめて 洗濯量: 洗濯・脱水: 1kgの4回をまとめて行う場合と、4回に分けて行う場合との比較	約0.49kWh	約13円
	乾燥はまとめて 乾燥量: 1kgの4回をまとめて行う場合と、4回に分けて行う場合との比較	約3.50kWh	約94円

出典: JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター

移動

近所へ出かけるときは、徒歩や自転車での移動を心がける。自転車は二酸化炭素排出量がゼロであり、カーボンニュートラルに寄与する移動手段です。



できるだけ公共交通機関を利用する。自家用車と比べ、バスや鉄道などの公共交通機関は一人当たりの二酸化炭素排出量が少なく、地球に優しい乗り物です。

鉄道 20g-CO₂/人km

バス 71g-CO₂/人km

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(旅客)(国土交通省HP)
自家用自動車 128g-CO₂/人km

宅配便を1回で受け取る。約2割が再配達になっています。再配達を減らすことで、二酸化炭素排出量の削減に繋がります。



- あらかじめ受け取る時間に時間帯指定を行う
- 受け取る場所を指定する
- 宅配事業者の営業所受取
- コンビニ受取
- 宅配ボックスの設置

住まい



- 太陽光などの再生可能エネルギーを活用すると、家庭からの二酸化炭素の排出を抑えることができます。
- 省エネ性能の高い家電製品などに買い替えると、エネルギー消費を大きく減らすことができます。
- パッシブクーリングアイテム(蒸発冷却によって表面温度が低下する外構部材)を導入することで、地球温暖化に備えることができます。
・芝生、生垣・ミストシステム(散水の気化熱を利用するシステム) など
- 建物の断熱性能を高めて、高効率な設備を導入することによって消費するエネルギーを少なくすることで「省エネ」を実現する住宅のZEH(ゼッチ)化も効果的です。

ZEHとは

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (Net Zero Energy House) の略

(出典) 資源エネルギー庁

ZEHとは、「外壁等の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギー等を導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅」です。



出典: 資源エネルギー庁
JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター



地球温暖化クイズ



質問①

次のうち、部屋全体をあたためるのに一番省エネな暖房機器はどれ？

選択

① 電気ストーブ ② エアコン ③ こたつ



質問②

配達先が不在により荷物を持ち帰っている割合はどのくらいでしょうか？

選択

① 約10分の1 ② 約5分の1 ③ 約半分

【回答①】 ② エアコン

部屋全体を暖めるなら、エアコンがおすすめ。ただし、外気温が低いとエアコンの効率が落ちてしまうことが多いので、石油ストーブやガスストーブをうまく併用すると良いです。部分的に温めるならこたつや電気ストーブなどが、短時間で暖かくなるので、効率的です。暖房器具は適材適所で選んで賢く使いこなしましょう！



【回答②】 ② 約5分の1

宅配便の配達員さんが1日に100件の荷物を配達するとしたら、19件の荷物を不在により持ち帰っているそうです。

周南市内の事業所に確認したところ、山口県全体も周南市内の状況も同様だそうです。

再配達によるCO2減はもちろん、荷物を配達してくれる方への感謝の心で賢く受け取りたいですね！



出典：JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター

周南市内の取組紹介



市役所の取組紹介



ノーマイカーデー

市内の事業所等に勤務されている方を対象に、自動車からのCO2排出削減を図るため、毎月第3金曜日を「市内一斉ノーマイカーデー」としています。参加者には参加登録証を配付し、特典として、「バス利用料金の半額」や「市内飲食店でのサービス」が利用できます。

担当課：環境政策課

URL <https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/18/>



電動車の導入

市の公用車について、新規導入・更新については電動車とし、2030(令和12)年度までに全て電動車とすることを目指しています。

※代替可能な電動車がない場合を除きます。

担当課：総務課



熱中症対策

～周南市涼みの駅～

熱中症予防を目的に、市内の薬局や郵便局、関係機関のご協力の下、外出中の人がひと涼みに気軽に利用できる場として、「涼みの駅」を開設します。

令和6年度：173駅開設

担当課：健康づくり推進課

URL <https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/31/>





周南コンビナートのカーボンニュートラルに向けた取り組み

市では、「周南コンビナート脱炭素推進協議会」(令和4年1月設立)において、令和5年に策定した周南コンビナートの2050年に向けた長期的なビジョンとなる「周南カーボンニュートラルコンビナート構想」の実現に向けて、産官学で連携し、検討を進めています。



担当課: 商工振興課 URL <https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/32/>



燃料電池自動車 (FCV) カーシェアリング

市では、公用車として導入したFCVを、市役所の閉庁日に市民や観光客のみなさまにカーシェアリングをします。是非、ご利用ください。



担当課: 商工振興課
URL <https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/32/>



ブルーカーボン

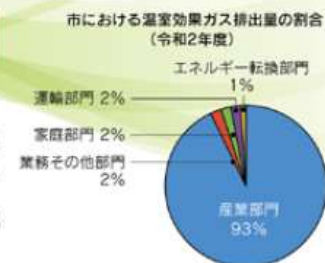
ブルーカーボンとは、アマモのような海の生物によって、吸収される「炭素」のことで、市では大島干潟を拠点に、ブルーカーボン生態系の創出・拡大に取り組むことで、カーボンニュートラルの実現と生物多様性に富む豊かな海づくりを推進しています。



担当課: 水産振興課 URL <https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/34/>

事業活動でできること

右のグラフが周南市における温室効果ガス排出量の割合(令和2年度)です。12,967[千t-CO₂]のうち、産業部門が90%以上です。事業活動でも、できることから行動して温暖化対策を行いましょう。



脱炭素経営

脱炭素経営とは、気候変動対策(≒脱炭素)の視点を織り込んだ企業経営のことです。



取組によるメリット

脱炭素経営を事業成長へのチャンスと捉え、カーボンニュートラルに向けて全社を挙げて取組、新たな強みを作ろうとする考え方が広がっています。



優位性の構築

他社より早く取り組むことで「脱炭素経営が進んでいる企業」や「先進的な企業」という良いイメージを獲得できます。



光熱費・燃料費の低減

年々高騰する原料費の対策にも、企業の業種によっては光熱費が半分近く削減できることもあります。



社員のモチベーション

自社の社会貢献は社員のモチベーションにつながります。



脱炭素経営で新たな強みをつくるには、進め方も重要です。

「知る」「測る」「減らす」の**3つのステップ**で取り組みましょう。



① 知る

- ✓ カーボンニュートラルに向けた潮流を自分事で見えよう
- ✓ 脱炭素経営で目指す方向性を検討しよう



② 測る

- ✓ 自社のCO₂排出量を算定しよう
- ✓ 主要な排出源を把握して、どこから削減に取り組むべきか、あたりを付けよう



③ 減らす

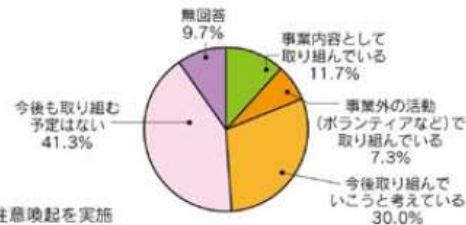
- ✓ 削減対策を検討し、実施計画を策定しよう
- ✓ 削減対策を実行しよう

市内に事業所を構える企業に気候変動適応に関する取組の実施状況等のアンケートを行いました。(約450社回答)
何らかの形で「取り組んでいる」は19.0%、「今後取り組んでいこうと考えている」は30.0%でした。
対策では、「熱中症対策」が多く挙げられていました。

取組の一例

熱中症対策

- ・従業員の健康管理
- ・空調施設設備(省エネの物)に取替え
- ・水分や塩分の補給をする
- ・空調服を支給
- ・こまめに休憩
- ・外での作業を極力控える
- ・暑さ指数に応じ、構内アナウンスによる注意喚起を実施
- ・応急セットを常設



事業者の取組紹介

全国4位の竹林面積を誇る山口県。竹は放置すると、雑木林を侵食し、土砂崩れなどの災害を引き起こす可能性もあります。株式会社トクヤマは、周南市、レノファ山口との連携により、竹の有効活用によるエコな応援策「竹クラーベ」を開発しました。「竹クラーベ」は竹林の伐採から製作まで、レノファ山口の選手・職員、ファン・サポーター、周南市職員、大学・高校生など地域の人々が連携して行っています。地域課題の解決を図りながら、新たな応援スタイルを目指しています。

竹クラーベ



高校生・選手との協働



試合会場での配布



RENOFA YAMAGUCHI FC

もっと未来の人のために

TOKUYAMA



事業者の取組紹介

バイオマス発電所を展開

出光興産(株)徳山事業所では、製油所跡地を利用したバイオマス発電所を建設・運営しています。輸入材に加えて国産の間伐材や製材端材等を使用することで、環境保全に配慮した持続可能な森林づくりと林業振興、地域の循環型経済の構築と発展を目指します。



idemitsu 出光興産株式会社 徳山事業所

ヤマト運輸

再生可能エネルギー活用による、サステナブルな物流を実現いたします。

GHG排出量削減計画

1. EV23,500台の導入 (集配車両の約60%をEV化)
2. 太陽光発電設備810基の導入
3. 2030年までにドライアイスの使用量ゼロの運用を構築
4. 再生エネルギーの使用率を全体の70%まで向上

太陽光発電設備



EV(電気自動車) 周南市においても導入予定



株式会社 丸久

丸久グループでは、「消費者参加型ペットボトル減容回収機」を16店舗に導入しております。設備メーカー独自の裁断方式により約3分の1以上に減容することで、効率的に回収でき、運搬車両が減ることでCO₂排出量の削減も実現しております。





KRY山口放送は、国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、2021年に「SDGメディア・コンパクト(国連がSDGs達成のため世界の報道機関等を中心に設立)」に加盟しました。ラジオ・テレビの自社番組内等で周南市を始めとした県内の企業・家庭など皆様のSDGsへの取り組みの紹介(未来とつながるWEEK)、「ふるさと川を美しく」等の公共キャンペーンを実施し環境美化への意識や行動を啓発してまいりました。地域と共に歩む放送局として、これまで以上に放送活動また放送以外の活動を通じて皆様とともに持続可能な社会の実現に向け行動してまいります。

未来とつながるWEEK 住み続けたい山田のまち



山口県・周南市・防長交通(株)・西日本電信電話(株)が連携し、2024年11月1日(金)～12月20日(金)の間、徳山駅～動物園間で自動運転EVバスの実証運行を行いました。
弊社は、主に、将来の実装に向けたオペレーションの知見獲得のため参加しました。



食品ロス削減

食品ロス削減のため、適正量を発注するシステムを導入するなど廃棄を防ぐ工夫を実施。また、お客さまとともに取り組む活動として、「フードドライブ」や「もぐもぐチャレンジ」(手前どり啓発)を導入しています。



資源の有効活用

食品トレーやペットボトル等を店頭で回収し、再資源化。また衣料品を回収しリサイクルする「MUDAZERO」プロジェクトを不定期で開催するなど、お買物を通して温暖化防止に貢献できる活動を提供しています。



再生可能エネルギーの利用

2015年に店舗屋上に設置した太陽光パネルでの発電を開始し、2021年にはPPA(電力販売契約)モデルを導入。また、2022年オーブンのゆめマート西条以降の新店は再生可能エネルギー100%で店舗運営を行っています。

同じ街で同じ未来へ

～お店に行くことがMIRAIにつながりますように～

脱炭素社会の未来 レノ丸と一緒にキックオフ！

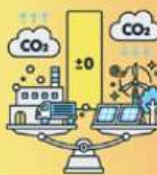
地球温暖化ってよく聞くけど、自分には関係ないと思っていた。
熱中症が増えてるとが身近なところで関係があることがわかった。
地球温暖化対策、脱炭素社会の実現に取り組みたいけど何をしたらいいんだろう。



温暖化がそのまま進んだら暮らしにもっと大きな影響が出る考えられています。
今すぐにでも地球温暖化対策を継続して生活を変えていく必要があります。



自分でも簡単に取組めることが沢山あることが分かった。
できることから、みんなで取り組んでいこう。



温暖化への対策は大きく分けると2種類あります。
一つ目は温室効果ガスを減らす【緩和】で、三つ目は温暖化の影響に備える【適応】です。
エアコンの温度設定や冷蔵庫の使い方など【緩和】を意識して生活を変えたり、一人一人ができることは色々あります。
熱中症予防のための【適応】は帽子をかぶったりこまめに水分などを補給することなどです。



地球温暖化対策 一緒に キックオフ！



「デコ活」

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動の愛称です。

デコ活
くらしの中のエコロがけ

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

環境省

太陽光発電
年5.3万円
災害時にも使える

住宅の断熱化
(窓・屋根・壁・床)
年9.4万円
ヒートショック防止

高効率給湯器
年3.5万円

はかり売り・自動決済
年3時間
好きなものを好きなだけ

LED照明
年3千円
年0.4時間

省エネ家電
(冷蔵庫・エアコン・HEMS)
年2.8万円

ごみの削減・分別
年4千円

クールビズ・ウォームビズ
年4千円

地産地消・食べきり
年9千円

節水
(キッチン・洗濯機・シャワー・トイレ)
年1.6万円

サステナブルファッション



公共交通・自転車
徒歩
年1.2万円

次世代自動車
年7.5万円
自動運転で年323時間
給油不要なら年2時間

毎月3万6千円浮きます(年43万円)

一日プラス1時間以上を好きなことに(年388時間)

サステナブルファッション…衣服の生産から着用・廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指す取り組み。

このページでは暮らしの中でできる地球温暖化対策を行った10年後の姿を紹介しています。
次世代自動車を選べば、維持費が年7.5万円浮きます。—DOWN— 給油不要な車なら時間が年2時間好きなことに使えるよ。—UP—



レノ丸と一緒にキックオフ！
～日々の暮らしから始める地球温暖化対策～
(周南市編)

RENOFA
YAMAGUCHI FC



【レノ丸と一緒にキックオフ!～日々の暮らしから始める地球温暖化対策(周南市編)】
はレノファ山口FCの協力を頂いて作成しています。

周南市と株式会社レノファ山口は、令和4年4月に「オール山口」リーグで地域創生」
環境保全に関する連携協定書を締結して環境保全に取り組んでいます。

【編集・発行】

周南市環境生活部環境政策課
周南市温暖化対策地域協議会環境活動推進部会

〒745-8655 山口県周南市岐山通1丁目1番地

TEL:0834-22-8324

令和7年3月発行



いいこといっぱい!

便利 機能的 プラごみ削減

クリーニングマイバッグを

使ってみませんか



ぶちエコやまぐち啓発
マスコットキャラクター
エコっちゃん



.....
使い捨ての
ビニール製衣類用カバー
(プラスチック)の削減!
.....

クリーニングマイバッグとは…?

繰り返し使えるクリーニング専用のマイバッグです



クリーニング店への衣類の持ち込み時は、通常のマイバッグとして、引き取り時は、スーツカバーのような形状になる優れもの。

バッグは二重構造になっていて、クリーニング前と後で衣類を入れるところが分けられており、衛生面にも配慮。

バッグのサイズ

縦:約140cm×幅:約60cm
スーツなら3着程度、シャツは5枚程度入ります



▶ 詳しくは裏面をご覧ください

「クリーニングマイバッグ」の使い方

1

クリーニング
マイバッグに
衣類を入れる



2

クリーニングマイバッグ
取り扱い対象※の

クリーニング店に
衣類を持ち込む



折りたたんでファスナーを
閉めるとマイバッグとして
使えます

3

クリーニングが
終わった衣類を
受け取る



クリーニング後の衣類は、
ホコリ等で汚れないよう、
バッグの内側に収納されます

※利用できるお店は、「山口県クリーニング
業生活衛生同業組合」に加盟している店
舗となります。



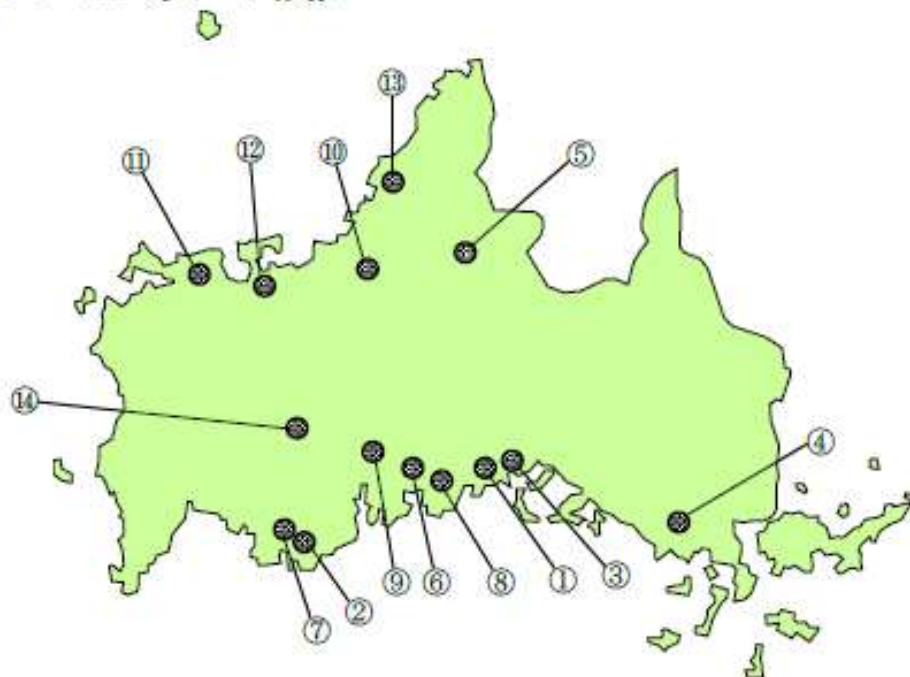
「クリーニングマイバッグが利用で
きるお店」と「使い方の紹介動画」
はこちら

「山口県クリーニング業生活衛生同
業組合」の環境配慮の取組につい
てはこちら



令和6年度 やまぐちエコリーダースクール認証校

高等学校（14校）



【令和6年度認証校】 ★は平成22年度太陽光パネル設置校

- ① ★南陽工業高校・・・・・・・・・・20年目
- ② ★宇部工業高校・・・・・・・・・・19年目
- ③ 新南陽高校・・・・・・・・・・18年目
- ④ ★田布施農工高校・・・・・・・・・・17年目 田布施農業高校から継続
- ⑤ ★山口高校徳佐分校・・・・・・・・・・17年目 徳佐高校から継続
- ⑥ 防府西高校・・・・・・・・・・16年目
- ⑦ 宇部西高校・・・・・・・・・・16年目
- ⑧ ★防府商工高校・・・・・・・・・・15年目 防府商業高校から継続
- ⑨ ★山口農業高校・・・・・・・・・・15年目
- ⑩ ★萩商工高校・・・・・・・・・・15年目
- ⑪ ★大津緑洋高校（日置校舎）・・・・・・15年目 日置農業高校から継続
- ⑫ ★大津緑洋高校（水産校舎）・・・・・・14年目 水産高校から継続
- ⑬ 萩高校奈古分校・・・・・・・・・・14年目
- ⑭ 美祿青嶺高校・・・・・・・・・・12年目

※認証校数の推移

認証年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
校 数	1	2	3	6	10	18	18	18	20	18	18
認証年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度		
校 数	21	20	19	17	16	16	16	15	14		

別添資料

やまぐちエコリーダースクールについて

【やまぐちエコリーダースクールとは】

環境教育に関する活動に**環境マネジメントシステム（PDCAサイクル）**の手法を取り入れた取組を行い、県教委が「やまぐちエコリーダースクール」と認証した学校です。

環境マネジメントシステムとは

組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境管理」又は「環境マネジメント」といい、このための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組みを「環境マネジメントシステム」（EMS - Environmental Management System）といいます。

学校における活動の方針や目標を宣言し、その達成に向けて取り組み、活動による成果と課題を明らかにしながら、児童生徒が主体的に環境保全に取り組む「やまぐちエコリーダースクール」は、まさに環境マネジメントシステムを取り入れた取組といえます。

【やまぐちエコリーダースクールに認証されるためには…】

- 1 学校での活動方針を「行動宣言」として内外に示します。
（校内には全校集会等で、校外には学校だよりや学校 web ページ等を通じて行う。）
- 2 この宣言と取組状況を記載した提出書類等を基に県教育委員会が実施校を指定し、その後の活動成果を評価した上で、年度末にエコリーダースクールとして認証します。

【行動宣言の例】

行動宣言

〇〇小学校

- ◎ 空き缶・空き瓶等をリサイクルします。
- ◎ 給食の食べ残しをしないようにします。

行動宣言

〇△小学校

- ◎ 空き教室の照明のスイッチをこまめに切ります。
- ◎ 手洗い・歯磨きの水を節約します。

行動宣言

□□中学校

- ◎ 校舎・校庭の美化作業に努めます。
- ◎ 環境保全に関する地域の催しや活動に、積極的に参加します。

行動宣言

〇□中学校

- ◎ 地域の方々と協力して〇〇川の清掃活動に取り組み、水質保全に努め、ホタルがすめる川にします。

行動宣言

◇△高等学校

- ◎ 近隣の小学校を訪問し、木炭を使った水質浄化の取組について紹介し、普及に努めます。

行動宣言

□△高等学校

- ◎ 地球温暖化防止対策として〇〇〇〇〇〇の効果について研究を進め、実証展示を行います。

《行動宣言を決めるに当たっての留意事項》

- ア 上記の例の他、学校独自の取組を宣言にしてもよいこと
- イ 児童生徒が主体的に取り組む活動を中心とした宣言とすること
- ウ P D C Aサイクルに基づいて取組の内容と成果をチェックし、年度ごとに宣言の内容も改善を図ること
- エ 学校での環境教育に関する年間計画に基づいたものとする
- オ 単年度の取組にとどまらず、次年度以降の発展・継続性を考慮すること
- カ 地域・家庭への活動の普及が図れるものが望ましいこと

【実施方法】

- ① 県教育委員会は、実施要項に基づき、実施希望校（以下「実施校」とする）を募集する。
- ② 実施校は、「行動宣言」を行い、参加申請書（別紙様式1）及び環境教育に係る年間計画（様式は問わない）を提出する。
- ③ 県教育委員会は、提出書類をもとに実施校を指定する。
- ④ 実施校は、年度末に報告書（別紙様式2）を提出し、県教育委員会が認証する。
- ⑤ 県教育委員会は、認証校の中から特に顕著な取組を表彰する。

《認証のポイント》

- ア 児童生徒が主体的な活動を行っていること
- イ 計画(Plan)－実行(Do)－評価(Check)－改善(Action)サイクルが構築されていること
- ウ 環境教育に関する年間の計画に基づいた活動であること
- エ 次年度以降の発展・継続性がある取組となっていること

【期待される成果】

- やまぐちエコリーダースクールでは、学校全体で行う活動と教科等での学習活動とが相乗効果をもたらし、児童生徒の環境保全に関する自発性が喚起されるとともに、次世代を担う国民としての資質の向上を図ることができます。
- 児童生徒による「行動宣言」に基づいて主体的な取組を行うことで、児童生徒に達成感を与え、自ら考えて行動する力の育成することができます。
- 実施校での取組の様子をWebページ等で積極的に情報発信することにより、認証校内だけの取組に留まることなく、成果を他校にも普及するとともに、さらには、児童生徒の意欲が家庭・地域にも波及効果をもたらすことができます。



児童生徒、教職員、保護者、地域住民等の
環境保全に対する意識高揚・実践力向上（地域環境力の向上）

【参考資料】 児童生徒による主体的な環境学習を進めるために

児童生徒による主体的な環境学習を進める上で大切なのは、「何を」「何のために」「どのようにして」「どのようにしていきたい」という具体的なイメージを児童生徒がもつということです。環境学習に取り組む視点を明確にし、児童生徒が具体的な活動のイメージを共有することで、より協働的で主体的な取組へとつなげていくことができます。

児童生徒による主体的な環境学習を進める上で参考になる資料を以下に紹介します。

「環境教育指導資料【幼稚園・小学校編】」(平成 26 年)及び「環境教育指導資料【中学校編】」(平成 28 年)では、「環境を捉える視点」について次のように説明されています。

【幼稚園・小学校編】



平成 26 年 10 月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

環境教育指導資料【幼稚園・小学校編】

4 環境を捉える視点

持続可能な社会の構築を目指す環境教育を考えるためには、自然や生命、エネルギー、資源などの要素を個別に理解するのではなく、それらを関連付けて一つの環境を捉える視点として位置付けることが大切である。環境を捉える視点として、例えば次のようなものが考えられる。

- ・資源の循環
- ・自然や生命の尊重
- ・生態系の保全
- ・異文化の理解
- ・共生社会の実現
- ・資源の有限性
- ・エネルギーの利用
- ・生活様式の見直し

(第 3 章 小学校における環境教育 第 1 節より)

【中学校編】



平成 28 年 12 月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

※中学校編の視点の例も同様

参考 URL

環境教育指導資料【幼稚園・小学校編】

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/kankyo_k_n_e.pdf

環境教育指導資料【中学校編】

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/20161214.pdf>

山口県においては「環境教育推進計画」（山口県教育委員会、令和2年）の中で、これからの環境教育の方向性について下記のように示されています。



環境教育推進計画

我が国においても、中央環境審議会からの答申「これからの環境教育・環境学習－持続可能な社会をめざして－」（1999年）で、環境教育をいわゆる「環境のための教育」という枠から、「持続可能な社会の実現のための教育」にまで範囲を広げることが求めています。そこで、**循環・共生型**の持続可能な社会の構築に向けて、様々な問題を解決していこうという思考・行動自体を環境教育と捉えることが必要です。つまり、**ESDの視点に立った環境教育**では、単に環境だけではなく、社会、経済などをはじめとする極めて広範囲の内容を取り扱うことが重要となります。

※ESD・・・持続可能な開発のための教育

(Education for Sustainable Development)

（第1章 2 持続可能な発展のための教育(ESD)の視点に立った環境教育より）

令和2年3月（改訂）
山口県教育委員会

参考 URL

環境教育推進計画（山口県）

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50300/kankyo/keikaku.html>



持続可能な開発のための教育（ESD）について

持続可能な開発のための教育（ESD）とは、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であり、その中には、国際理解、環境、多文化共生、人権、平和、開発、防災などのテーマ・内容が含まれます。したがって、ESD で取り上げるテーマ・内容は必ずしも新しいものではありません。むしろ、それらを ESD という新しい視点から捉え直すことにより、個別分野の取組に、持続可能な社会の構築という共通の目的を与え、具体的な活動の展開に明確な方向付けをするものです。また、それぞれの取組をお互いに結び付けることにより、既存の取組の一層の充実発展を図ることを可能にします。

ESD の実施においては、「人格の発達や、自覚心、判断力、責任感などの人間性を育むこと」や、「他人、社会、自然環境との関係性を認識し、関わり、つながりを尊重できる個人を育むこと」の観点が必要です。

（文部科学省ホームページより引用 <https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339991.htm>）

その他の参考資料

環境教育に活用できる学校づくり実践事例集

https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/ecoschool/detail/1311403.htm